

農民日記について

——葦沢家日記要項 3 ——

高 木 俊 輔

は じ め に

本年度は、前々回、前回につづき、長野県東筑摩郡麻績村の葦沢家日記の、明治11年から明治21年までの要項を示すことにしたい。幕末からの葦沢家当主源右衛門は、明治21年3月23日に死去しており、要項では3月1日までが源右衛門分である。源右衛門が日々の記録に注いだエネルギーには驚くべきものがある。ともあれ、源右衛門のつけた明治21年3月までが葦沢家「歳中日記帳」の一区切りとなることは明らかであるので、要項の紹介も今回で打ち切ることにはしたい。

さて、葦沢家日記の要項を紹介する前に、二、三の気付いた点を述べておこう。

明治11年から21年までの日記には、それ以前のような宿場としての特徴を示す記事がほとんど見られない。村に関する点では、無尽、無尽講会、庚申講それに妙法講、一新講など講に関する記事が多い。庚申講については明治15年5月に出入りがあった。村関係で目につくことは、明治12年戸長選挙投票、明治13年村会議員選挙投票、衛生委員・学務委員投票、聯合会議員選挙、明治14年衛生委員投票、明治16年筆生など、いろいろな選挙が行なわれていることである。選挙権者がどのような人たちであったかは分からないが、村運営に関して度々選挙が行なわれており、村内に緊迫した状況はなかったようである。葦沢林平が村の小学校の先生になったこともあり、学校や学校世話役などに関する記事が多い点に特徴があるが、明治10年代の在村的な政治状況を伝える記事がほとんど見えない。

葦沢家日記の内容の多くは、当然のことながら日々の出来事である。冠婚葬祭では、出生・死去・法事・婚姻など、具体的には婚礼・嫁取り・結納取極・縁談・酒入・縁付披露・養子・嫁入・離縁、三十三回忌・十三年忌・年回・忌取・盆呼などであり、神明宮はじめ八幡宮・四阿屋山の祭礼・芝居・角力などの記事も多く、文殊菩薩や金比羅山の花火見物もある。なお、博奕・追剥・盗難・懲役・監獄御免などの記事も少なくない。

第2回目の説明において、要項は情報や通行についてはほとんど拾いだしていないといったが、今回は若干関連記事が見られる。明治11年の大久保利通参議殺害・東京竹橋近衛隊事件、明治12年の越前国永平寺大教正通行、長野県令関係では明治14年の檜崎寛直の免役、大野誠着任、明治17年大野誠死亡、同年木梨精一郎県令事務取掛り、などである。

葦沢日記の内容の豊かさは、要項からだけで推測することは到底不可能である。農民の日記研究は、実際に本文を読んですすめる以外にないのだが、3回にわたり嘉永7年から明治21年までの約35年間の、葦沢家がつけた要項によって、とりあえずその内容の概要を示してみたのである。

明治十一年

一月一日より八日晩迄雨雪降九日十日十一日曇ル
十二日より十五日晩迄雪降り十七日天気
十八日十九日雪降り廿日より廿二日迄天気廿三日雪
四日天気廿五日天気廿六日廿七日雨廿八日より三
十一日迄雪

二月中晴又曇ル日七日有之餘ハ雪降り

三月中者専分天気式分曇雪雨

四月中者晴十二日十八日者曇雨

五月中者十四日天気十七日曇雨

六月中者十四日天気十七日曇り雨降り

七月中者天気四日廿七日者雨降り既ニ違作ニも
可相成処十四日天気祭リ神明宮ニ於テ有之候

八月中者天気廿七日打続四日雨天

九月中者九日天気廿五日曇雨天

十月中者十二日天気十九日曇雨

十一月中者六日天気廿四日曇雨雪

十二月中者十六日天気十五日曇ル雪

当秋麦蒔中者天気夫ハ稻刈ニ相成候ハ打続雨天
勝ニ而百姓迷惑仕候 秋後ニ相成候而も雨天ニ
テ干物干一切不致誠ニ迷惑左ニ付テハ薪干も一
切取不申候

1 月

1 日 旧十一月廿八日

5 日 鉄三郎上田へ年始ニ行

5 日 旅籠屋会合有之当年世話人源右衛門

8 日 林平柳沢佐一郎方へ呼れ行執事之投票致
候

16 日 宮尾老母昨夜死去致候

18 日 今晩地震有リ

21 日 鉄三郎坂木方帰ル

22 日 上町大石や小児死去

23 日 下井学校世話人林平ヲ請待ニ来ル

26 日 大松呼ふ

30 日 餅搗ク

31 日 林平坂木へ年始ニ行

2 月

1 日 下町本左衛門伴寅吉トおくらトメハワセ
之取極仕候

7 日 菊五郎方へ呼れ行 玄秀方無尽有之候

9 日 花やニ而大判呼有之

10 日 宮尾家内呼ふ

13 日 花やニ而小児誕生有之

15 日 甲雄方年回仕候

19 日 上町織平来ル

23 日 大和やトウコロハシ有リ

24 日 米蔵方月無尽発起

25 日 癸雄宅周忌取延し候

3 月

2 日 分署ハ旅人之儀御沙汰有之右ニ付旅舎へ
統へ申し候

4 日 直右衛門方へ嫁呼れ行

6 日 越後やニ而二階巨燵燃ル

9 日 癸雄一条扱所へ書出ス

11 日 近藤菊蔵義家屋敷山崎鉄五郎方へ売渡ス
受人源右衛門

12 日 旅人へ旅籠ニ而酒売一条ニ付請印致候

12 日 大和やニ而内々御霊社祭リ有之候

13 日 おきち坂木へ泊リニ行

15 日 民三郎来ニ付九衛へ相談

16 日 清五郎方庚申請

17 日 下町林嘉忠太宅出火家潰ス

19 日 桑原およち泊ル

28 日 七郎家屋敷西之方今般同人買取候

4 月

1 日 神明宮夜燈玉垣名前

2 日 上田喜右衛門来ル

2 日 源右衛門松本方御召状来ル

4 日 招魂祭仕候

5 日 上田市太郎死去之旨扱所へ届候

6 日 源右衛門松本警察署へ行

14 日 富蔵山開帳初ル

15 日 誠一郎次男小坂村へ縁付披露但昨年暮迄
ス

16 日 昨年癸雄戦死候義ニ付又々御状来ル

30 日 無尽致候

5 月

3 日 坂木へ源右衛門行

7 日 おもん義花や方池田村へ縁付遣ス

11 日 直右衛門養子之儀並借金之儀ニ付親類相
談有之行

13 日 産所二階天井揃ひ初メル

14 日 参議大久保利通公殺害ニ達ふ首被取候由

17 日 おもん里披露ニ花やへ来

17日 博奕之人別新作外六人召捕れ候

16日 上町刈間弥三郎死去

20日 菊五郎夫婦小坂村へ今朝引越出立

22日 ゆき義拾ひ物致屯所へ出ス

23日 近藤菊蔵拙宅向へ今日引越候

27日 庚申請致候

6 月

8日 森村近藤応之助方と凱旋表来ル

10日 御庁へ林平御召出 = 付為三郎行

12日 源右衛門今日森村近藤応之助方へ行

14日・15日 当校大試験有之候

20日 清五郎次男久吉松本へ奉公 = 行

23日 余吾義 = 付旧役人廿人松本警察所へ昨日

御召出し罷越候 癸雄在動中積置御庁と御

下ケ = 相成候

7 月

6日 峯吉夫婦先日入湯湯宅 = 付今晚呼ふ

8日 旅籠昼夜之儀分署伺ヒ候処不苦被仰聞候

10日 おしつ拙宅 = 而ノボセ糸初メル 菊蔵引

越披露致呼れ行

13日 勘査人入札開札

14日 神明宮天氣祭リ有之

22日 南麻績校 = 試験有之

28日 神明宮祭礼

29日 おふみ鶴乱煩ふ

8 月

10日 安坂村三輪多弊方六月中不幸 = 付今日悔

= 行

10日 長野権令今日県令被任

14日 盆呼致候

15日 臼井善五郎祖父死去之由

16日 芦沢芦雄父不快 = 付見舞ふ

18日 矢倉村富七倅昨夜水死致候

19日 池田村おもん逢 = 来ル

19日 峯吉女房おきい昨夜出奔致候

20日 法善寺 = 而勘査人一同打寄等級開札

21日 平五郎御嶽山と帰宅

21日 新作外人別懲役御免 = 付帰宅致候

24日 坂本宿松尾作右衛門女房おしち死去

28日 癸雄義 = 付扱所へ御状来ル

29日 芦沢芦雄父死去

31日 東京竹橋内近衛隊砲発之由

9 月

4日 おもん来ル

5日 七郎前高札引去リ申候

5日 為三郎医学生徒 = 今日出立致シ区長と状

来ル 右 = 付罷越候

6日 癸雄手帳御下ケニ成ル

8日 御巡幸拜 = 行

14日 大松裏川端石垣取ル

16日 為三郎義十日長野と日延帰村又今日出立

仕候

24日 坂木定之助永井花火見物 = 来ル

28日 裁判所へ出頭 = 付廿五銭ツ、差出シ清五

郎願出

10 月

2日 坊平九造方桜花盛人々見物 = 行

2日 善光寺佐兵衛女房おさき九月廿七日死去

3日 芦沢七郎母死去

9日 七郎方庚申請有之

11日 仙十郎作五郎家替致候

13日 長野と為三郎立帰リ来ル

14日 林平静三松本師範校へ行

14日 九衛夫婦口論致候

22日 峯吉義先日賄ひ女内へ入候 = 付義理行

25日 産所二階巨燵疊揃ひ菊蔵来ル

26日 九衛甲雄分地仕分致候

30日 産所二階疊寄申入菊蔵来ル

11 月

3日 菊蔵方へおふみ稲こき手伝 = 行

3日 風呂場之棚揃ひ

13日 一ノ川平播郎父死去

15日 上田おきた来ル

21日 産所二階暮菊蔵来ル

26日 大和や新酒披露

27日 下町新七郎父七十五才昨夜死去

12 月

3日 下町政蔵女房死去

4日 高崎鎮台徴兵五百人当宿泊リ傭人死去

5日 同 断

6日 無尽会致候

8日 誠一郎方庚申請有之呼れ行

10日 林平静三松本と今日帰宅

12日 仁熊村宮沢英蔵方と梶子貸願有之

14日 宮沢英蔵方へ示談 = 行

14日 宮沢起蔵方へ年回並小兒祝有之 = 付義理致候
 16日 宮沢英蔵方済方 = 付決算致候
 16日 宮沢へ出分四十錢孝平へ貸
 16日 一ノ川平播郎祖母死去
 21日 矢久村召田新平泊ル
 22日 白井立三母死去
 24日 坂本定之助来ル
 26日 昼宮下彦七焼失致候
 26日 為三郎長野^ト帰宅
 28日 安坂村丁楽屋長三郎焼失
 29日 勝手取次差替勝手ハ其裏返し致候
 29日 安坂越シ耕地八郎右衛門方不幸
 30日 旅籠人員取調候
 31日 餅搗致候

明治十二卯年

1 月

2日 柳沢米蔵死去 坂井村宮沢耕地染右衛門前十時頃焼失
 5日 鉄三郎上田へ行
 7日 為三郎坂木・上田行
 10日 旅籠屋取極メ橋本致候
 11日 林平南麻績校へ在勤致候 砂原耕地勝蔵^ト倅切通シ = 而晩追はぎ = 逢申候
 13日 来ル廿一日ヨリ郡長之御越シ之旨御布告有之
 14日 おしま方庚申講有之
 20日 下町本左衛門寅市同道 = 而東京へ出立
 25日 赤坂又三郎方内ヨリ煙リ出ル人々火事と心得大騒ぎ致候

2 月

1日 為三郎義長野病院講習所へ行
 6日 下町赤坂新七郎長女死去
 12日 県会議員之投票致候
 18日 林平^ト婦天下井堀学校へ引越シ
 23日 芦沢七郎弟五十次今晚婚礼致候
 23日 為三郎義長野^ト来ル 三月二日又長野へ行

3 月

4日 おきち坂木へ泊リ = 行
 4日 白井類蔵死去

7日 林平坂木へ行
 9日 坂木平林兵左衛門方婚礼有之候
 12日 上町麻滝続方婚礼有之
 12日 青柳在中嶋耕地出火有之
 14日 大和やドフコロハシ呼れ行
 15日 梶浦宮下福次郎方出火少々有之
 16日 上田坂田喜右衛門方へ鉄三郎之訖致候
 17日 林謙吾方^ト年回蕎麦来ル
 20日 寺大門^ト水道 = 而水引度発端相整候
 26日 永井柳沢佐一郎方不幸
 31日 白井立三方百ヶ日 = 付数の餅来ル
 4 月
 3日 梶浦宮下福太郎弟梅吉シンジ^ニ致候
 3日 鉄三郎義高萩学校退校致候
 6日 法善寺年回有之候
 7日 白井九衛女房おいち義隠宅へ引取居候処今般示談行届九衛方へ帰ル
 8日 源吉夫婦今朝出立致候 流シノ掛燈籠揃ひ申候

14日 長野病院へ診断(書)認メ遣ス
 14日 学校執事之投票致候
 15日 露路石垣直シ致候
 18日 宮尾年回有之候
 22日 上田喜右衛門小布施三郎治来ル
 23日 坂木日奈沢宮原吉彦来ル
 24日 池田おもん夫婦三郎治直右衛門平六郎呼ぶ
 27日 癸雄三年季家内中 = 而致候
 30日 味噌炊致候

5 月

6日 源右衛門鉄三郎上田へ行
 9日 鉄三郎義時^ト田町関新右衛門方へ養子 = 行
 11日 源吉夫婦帰国致候
 13日 ゆき義怪我致候
 16日 学校執事白井九衛之処矢倉小山森三郎高札 = 付被仰付候
 17日 コブガ原神社センゲ山へ新築致候
 18日 戸長選挙投票紙各々へ扱所^ト渡シ = 成ル
 20日 戸長選挙投票致扱所へ遣ス
 21日 味噌仕入致候
 25日 桶や上町西沢由五郎ヒムロノ木^ニテトコ風呂桶出来、赤針金タガ四筋掛ル 目方式百九十匁

26日 ヒムロノ木ニテ米トギ桶壱ツタガニ筋掛
ル針金六拾匁 外ニ小桶壱ツ木タカ同断針
金五拾匁

28日 拙者発起無尽講会ニ相成候

31日 廿円舟窪金蔵へ取替遣ス 為三郎長野へ
行

6 月

1日 和合方三尺桃式本貰ふ植ル 旅舎諸講之
為板掛度願之處御旨令ニ相成ル

5日 常弥家賃直右衛門へ相談致候

6日 新作女房おふで死去

8日 常弥家屋根板代式円十八銭九厘文作へ渡
ス

11日 おさた上田へ帰ル

13日 畳代並太ちん之内引テ廿三銭大松へ貸シ

17日 矢倉村小山偵二郎郡役所御状来ル

19日 拾ひ物御役所より下ル之御沙汰有之候

25日 筆生投票開札致候

30日 筆生高札之者三人明日より役場出頭可致候
中町寺沢朝義祖母死去

7 月

1日 旧正副戸長外新筆生並誠一郎・半五郎右
八人ヲ新戸長小山偵二郎戸長役場ニ於テ相
招馳走致候

7日 学校世話人投票致候

10日 金五郎娘およの今日ヨリ拙宅ヘノボセ引
ニ来ル

11日 白井清治舅婆おりん死去

12日 上町刈間佐十郎母死去

12日 おれい夕方来ル泊ル

14日 越後之仁松本之仁兩人馬場峠ニ而追はぎ
ニ逢ふ

16日 役所諸給料入費御下ケ有リ

19日 水道出来上り水流通致候

22日 巡査引替り候

27日 芝居役者泊ル

28日 神明宮祭礼有之

29日 裏水道とよ堀り生ケ直し致候

8 月

2日 旅籠屋相談有之候

11日 三ヶ村割橋本ニ有之源右衛門重吉行

13日 下町武田善吉母死去

14日 御上納取立 神明宮花火有之

15日 裏隠宅ニ而ノボセ引致候

16日 為三郎長野病院寮へ罷越候

20日 常弥屋根普請屯所届ケル

22日 嶋屋良蔵荷物山田村へ遣ス

24日 墓掃除ニ行 御出役有之虎列刺病除防説
論有之

26日 湯殿方部屋へ何者カ忍入候得共紛失無之

30日 下井堀青木平三郎焼失 明治五年演太郎
より證文金廿円借用今日返済

31日 安坂村四阿屋ニ而芝居有之由

9 月

6日 白井留作馬拙者向裏畑踏荒し候ニ付拙者
より断候後詫ニ来ル右ニ付勘弁致遣ス

12日 市野川祭礼ニ付花火致候

14日 花や盆呼ニ付林平呼れ行

16日 坂木平林兵左衛門・為三郎一同来ル

17日 建坪・山野税取立

19日 兵左衛門帰村致候 法善寺庚申講林平呼
れ行

21日 田穀積替ニ付源右衛門宮本耕地へ行

23日 向万鉄方三男出生候

24日 坂木定之助日奈沢寅吉来ル

27日 九衛大松昨夜松本より帰リ候由

30日 林平外一同姥捨へ付見ニ行

10 月

1日 柳沢米蔵方法事ニ付呼れ行 夏中エンゲ
キ御差止之處今日より差許シ

3日 松や年回ニ付呼れ行 郷蔵初之相談一決
仕候

5日 白井与十郎宅戸長役場ニ借家取極申候

6日 法善寺和尚坂井村会田村麻績村戸長橋本
ニ於テ振舞致候

9日 おしま方庚申講ニ付呼れ行 常弥方之家
賃證文白田文作より受取申候

10日 為三郎義徴兵免役願致候

13日 田沢村より林平ヲ招待ニ来ル

14日 為三郎長野病院罷越候

16日 上町古峯山祭礼芝居有之候 おもん十五
日泊リニ来リ候由

19日 入麦致候 勝手巨燧明ケ候

21日 おきち坂木へ泊リニ行 越前国永平寺大
教正御通行法善寺泊リ

23日 川路大郷師御病死之由但当月十三日山形

県入牢人焼死 = 候由

28日 稻刈初マル

11 月

1日 源右衛門長野へ罷越候

8日 林平夫婦田沢学校へ在勤 = 付今日出立致候

10日 晩舟窪金蔵梓婚礼致候

10日 眞印紙売捌書替 = 相成候

13日 坂木堺や長家焼失兵左衛門長家類焼致候

15日 芦沢徳之助臼井留作方へ盗 = 入候由

16日 夜松本芝居舞台焼失之由

26日 田穀積入 = 付源右衛門見分 = 行

29日 土蔵軒下室と水道取ル

30日 表へ両とよ掛ル 梶浦耕地田穀積立源右衛門見分 = 行

12 月

2日 晩いろはやゑびす講呼れ行

3日 ゑびす講 = 付源右衛門万鉄方へ呼れ行

5日 兵卒法事 = 付法善寺へ呼れ行

10日 小峰講中 = 入加入金差出シ候 直右衛門義盲目相成おふみ義理 = 行

17日 桑山村之内和合瀧蔵端山家晩焼失致候

22日 林平夫婦田沢学校と泊り = 来ル 晩甲雄方女子出産有之候

26日 半五郎方へ呼れ行

28日 半五郎方戸長役場借家之处今日与十郎宅借家致引越申候 今日源右衛門宅煤拂致候

24日 上田おさた泊り = 来ル

28日 為三郎長野と泊り = 来ル

29日 水道一件落着 = 相成候

30日 餅搗致候 芦沢芦雄方庚申講呼れ行

明治十三辰年

1 月

2日 西京備前屋藤五郎泊ル

4日 下井堀非人ノ宅焼失致候

2日 臼井丈作方出産有之

15日 臼井甲雄長女十二月出生之处今日死去

21日 池田在林中ト申村之山本矢門ト申仁立寄ル

21日 芦沢芦雄見せ開致候

28日 下町宮下喜久蔵女房死去

31日 餅搗致候

31日 下安坂村 = 而出火有之候 村会投票開致候

2 月

3日 酒井玄講習所へ出立致候

5日 為三郎義区内割之義請度頼之書出ス

8日 村会議員投票開致候

16日 番号改正候

20日 旧光明寺学校 = 致候

24日 林平夫婦田沢村と帰宅

26日 おきち出産致候得共内々 = 致シ他へ為知不申候

3 月

1日 下安坂宮下文古父死去

4日 おふみ長野と帰宅

5日 おきち産致候趣今日披露致候

7日 法善寺住職丸山從展死去

9日 同寺葬式 眞誠講官板掛ケル

16日 先日生れ候小児死去

21日 坂木定之助来ル

23日 学務委員開札小山森三郎へ高札

25日 臼井平六郎娘おゑつ義林誠一郎梓義一郎妻 = 縁談内々取極候由

26日 臼井直右衛門昨十二月頃眼病 = 而終 = 盲目 = 成ル見舞ふ 上町中町若者共伊勢参宮祓参リ候由

28日 和合耕地市川久治兵衛梓関之助帰国致候

4 月

4日 臼井平六郎方へ林誠一郎方と内談之酒入ル

8日 臼井丈作女房おさい不快之由見舞ふ 先日五日坂木平林兵左衛門梓定之助女房お梅男子出産致候

13日 上同泉や甚三郎女房おその病氣 = 付清五郎方へ飛脚来ル

17日 上田臼井藤五郎死去

21日 佐左衛門死去

22日 参宮人下向有之

25日 向赤坂又三郎女房おつた死去

25日 上田臼井利平治小児死去

28日 池田村定右衛門妻おもん呼ふ

29日 向赤坂しま方今晚方法事致候

30日 右同人方 = 而庚申講有之

5 月

- 5 日 上町刈間五郎死去
 5 日 武三郎松本へ養子ニ行
 5 日 宮下文語方孫誕生ニ付餅粍重来ル
 7 日 稲荷山町金ノ向側三四軒当時出火焼失
 8 日 下町惣代四人此頃取極候由
 13 日 匪穀昨四月貸付分今日下町積入レ
 13 日 林平おきち田沢学校泊リニ来ル
 13 日 衛生委員学務委員投開致候
 15 日 法善寺茶毘式有之候
 17 日 林平夫婦田沢学校ニ行 先日清五郎と借
 用金廿円今般坂木平林兵左衛門へ貸ス
 23 日 昨朝静三女房出産之小兒今日死去
 26 日 源右衛門田沢学校へ相談有之行

6 月

- 1 日 源右衛門長野町へ行
 12 日 当学校昇級試験有之候
 13 日 林平おきち田沢方来ル 峠清水や和田吉
 来ル
 14 日 臼井玄蔵母死去
 17 日 おたみ大豆代差引済
 23 日 路じノ松起し候 水道事件引直し
 23 日 佐兵衛女房おこふ入籍之受取書長野へ送
 ル
 24 日 為三郎長野方来ル
 24 日 天子様今晚松本ニ行在所之由
 26 日 為三郎又長野へ行
 28 日 裏側雨とよ掛ル 為三郎長野方又来ル
 29 日 為三郎沓掛へ湯治ニ行

7 月

- 7 日 林平おきち田沢へ行
 9 日 小布施高津三郎治来ル
 11 日 表具や常三郎拙宅へ来ル
 12 日 永井松葉学校と林平ヲ請待ニ来ル 大雨
 ニ而所々損シ候 おさた泊リニ来ル
 14 日 為三郎沓掛と帰宅 向万鉄方と妙法講札
 来ル
 19 日 古峯神社拜殿新築ニ成ル
 25 日 為三郎おさた田沢へ行
 26 日 麻明神祭礼有之
 28 日 為三郎田沢方来ル 神明宮祭礼 上田泉
 や甚三郎親死去致候

8 月

- 1 日 安坂村宮下文左死去
 6 日 岩淵大松東京江行
 8 日 旅舎会合有之候昨日と越新潟五千軒焼失
 之由
 10 日 林平おきち田沢学校退校引取
 16 日 下安坂宮下文左家内警察署へ呼出し調有
 之由
 17 日 為三郎坂木と上田迄参旨申昼前出立致候
 20 日 向又三郎方浄留リ(瑠璃)有之候
 25 日 清水や和田吉常德院と手紙持参致候
 30 日 日向村村会有之候

9 月

- 2 日 為三郎長野へ行
 3 日 芦沢七郎親旧七兵衛死去
 4 日 法善寺庭ニ芝居有之候四阿山祭礼 二日
 夜演太郎娘家出致候由
 6 日 桑原村関六左衛門来ル
 8 日 刈谷原村中沢田宮死去之由
 12 日 法善寺ニ而連合会人員撰挙有之
 14 日 神明宮晩花火有之候
 16 日 徴兵之印形取ル
 17 日 学校掛リ御派出有之候
 19 日 聯合会議員入札開札有之
 21 日 吉野小三郎女房死去
 24 日 永井文珠菩薩花火有之
 26 日 源右衛門源吉八幡と長野へ参り候
 27 日 山田寅市姉寅吉ト夫婦ニ致置候処今般男
 子出生之由

- 28 日 為三郎義ニ付長野病院と召状来ル
 30 日 源右衛門・為三郎長野へ行

10 月

- 5 日 酒井玄秀講習済ニ付客立致候
 10 日 源右衛門長野と帰宅致候
 13 日 臼井九衛不快源右衛門見舞ふ
 15 日 春中参宮人別呼ビ申候
 21 日 本条学校焼失
 25 日 知恩院様善導寺御泊リ
 26 日 桑原村辺雷鳴氷降り候申
 27 日 清五郎方庚申講有之
 28 日 向万鉄方病氣見舞遣ス

11 月

- 1 日 為三郎義ニ付県庁へ書面差送り之分戸長

松本へ出勤 = 付右方へ送ル 梶浦宮下佐吉死去

- 1日 下町臼井庄九郎土蔵 = 入置候初四俵被盜候由届ケル
 11日 先日庄九郎方紛失之初追々下町宮下演太郎へ疑相掛リ警察署へ引かれ申候
 13日 臼井忠兵衛後妻披露致候
 16日 法善寺 = 而徴兵之年回致候
 18日 伏見宮様地誌御改之義 = 付御通行 千本柳村おりゅう来ル
 20日 囲穀積入昨年積残之分 先達而為三郎方病院へ退職願書差上置候処此度御法令下ル
 22日 昨年囲穀宮本耕地積残リ分今日積ム
 25日 飯沼林義義家出致候由
 27日 松本在轟村松本惣役所焼失

12 月

- 1日 柳沢米蔵方法事 下町宮川宗五郎方婚礼有之
 3日 日向村高野四郎父死去之由 宮下演太郎方宣吉書上ヨリ御下ケ = 相成候
 4日 囲穀積残リ今日寺沢弥十郎積入ル
 5日 先日廿三日飯沼林義家出之義今日池田在松川ヨリ状来ル
 7日 西南戦争 = 付戦死之者書上候 臼井直平親父死去
 10日 林誠一郎方と臼井平六郎方へ結納入ル
 14日 上町七沢金五郎倅へ臼井類蔵娘を仲人致度口入致候
 15日 日向村桑山耕地和合市川久次兵衛母死去

明治十四巳年

1 月

- 3日 おゑつ義花やへ里帰り開 = 付おきち呼れ行
 4日 法善寺和尚先年通り年頭致候 今日戸長役場開キ
 5日 おゑつ義木曾やへ帰宅右 = 付赤飯耄重来ル
 8日 せち呼致候 上町山手瀧沢忠助祖母死去
 9日 花やせち呼び
 10日 越後やせち呼び
 11日 臼井荒治郎南麻績校へ被雇今日開校致候

12日 大和やせち呼び

13日 永井校開校 = 付林平行

16日 臼井甲雄長男安雄死去六才

16日 宮下演太郎旧冬惣役へ行今般御免 = 相成昨夜帰宅

17日 近藤菊蔵養父奎三郎今朝死去

19日 同人方出棺

20日 桜野 = 而旅籠屋会合有之候

27日 東京招魂社之写新絵此頃郡役所と西南ノ役 = 而戦死致候者之家族へ壹枚御下附 = 相成今日戸長小山偵二郎と請取

2 月

7日 法善寺年回有之呼れ行

8日 梶浦宮下甚助死去

13日 清水や和田吉並為三郎昼時出立宿札引 = 木曾ノ方へ行

15日 前四時おきち安産女子出生致候

17日 永井杉崎耕地小川原賢十郎倅嘉作義四十八曲リ峠 = テ怪我致候尤盜賊之為 =

19日 峯山事件 = 付宮下文語方談示有之林平行

20日 坂木平林兵左衛門年始 = 来ル

23日 為三郎帰宅尤十三日出立致候処

24日 小児ノ三日湯客立致候

26日 平林兵左衛門帰宅

3 月

1日 小児出生届戸長役場へ致候

2日 佐兵衛長女出生戸長役場届致候 為三郎義 = 付長野医学校へ書籍シャップ月賦金返還被迎付今日寺沢金五郎ヲ以返還 = 遣ス

4日 二月十二日青木平助死去致候由金五郎長野方三月四日帰り承ル

12日 日向村高野四郎女房死去致候

13日 源右衛門不快 = 付役場へ不参致候

16日 大町病院長拙宅へ来ル 宮下文語娘永井村へ縁付行

19日 上田房山村城田喜右衛門親子泊リ = 来ル

20日 小児宮巡リ致候

25日 峯山事件 = 付臼井立三・若林平播郎東京へ出立致候

27日 矢代宿柳崎源左衛門拙宅へ立寄

28日 城田喜右衛門帰宅 = 付出立

29日 おきち産後初て永井校へ行

31日 旧節句 = 付帷子餅配当ス

4 月

- 2 日 埴科郡坂木村へ今般遊女御許容 = 相成候
由右 = 付祭り有之林平おきち泊リ = 行
- 2 日 岩淵大松姉出産死去致候
- 4 日 岩淵お産葬式出棺
- 5 日 東京方大松来ル
- 6 日 松五郎家内一同新堂へ引越申候
- 7 日 源右衛門義病氣 = 付三月十三日ヨリ不参
全快今日ヨリ出勤
- 11 日 峯山事件 = 付書面調印候処不都之筋有之
又々認直し調印致候
- 12 日 村半五郎娘松本へ縁付参り候
- 15 日 飯沼林茂義女房離縁致候
- 18 日 上町白井頼蔵娘金五郎倅へ仲人内證酒入
ル
- 21 日 小山森三郎宮下太吉衛生委員投票高札 =
付被仰付候
- 27 日 村会開設
- 5 月
- 3 日 坂井村古峯山祭礼芝居有之候
- 4 日 飯沼林茂事件示談 = 相成候
- 5 日 根尾耕地囲蔵新築 = 付初積入申候
- 9 日 赤坂又三郎倅今晚婚礼致候
- 10 日 麻滝統方次男勢平へ嫁取婚礼致候
- 10 日 霜降り
- 15 日 源右衛門源吉八幡宮へ参詣 = 行
- 19 日 岩淵大松方 = 而四十九日餅搗ク
- 23 日 白井直平方土蔵建ル
- 24 日 梶浦堂 = 而坊主死去仕候
- 31 日 下町窪田七郎平娘死去
- 6 月
- 3 日 大堰下揚口出来 = 付見分 = 行
- 5 日 五人組組合セ之儀清五郎組与源右衛門組
与合併致右 = 付役場へ届置候
- 9 日 採取講回達帳へ印形致候
- 20 日 田植致候
- 21 日 為三郎義東京へ無沙汰 = 而罷越候由書置
有之候
- 26 日 聯合会有之候
- 28 日 東京大松方方為三郎其地へ参り候旨郵便
= 而来ル
- 29 日 生糸取ル

7 月

- 6 日 上川手村徴兵田口音吉泊リ今般県庁と御
賞有之候
- 8 日 道普請有之
- 11 日 大松東京方帰村
- 12 日 長野県令榎崎寛直殿免役
- 14 日 周太郎・義三郎宮本器械開ク
- 20 日 喜右衛門と石井藤兵衛妻死去申来ル但手
紙 = テ
- 22 日 およの生糸取初メ
- 24 日 隠居家へ糸取引越ス
- 25 日 大和や向山野火
- 29 日 おちか糸取初ル
- 29 日 赤坂与蔵女房死去
- 8 月
- 1 日 六日廿九日夜と霽星出ル
- 6 日 長野県令大野誠殿改ル
- 11 日 下町青木新松母死去
- 19 日 下町赤坂与蔵母死去
- 27 日 梶浦宮下長治郎車屋 = 而焰硝搗、同所出
火大変
- 29 日 小林梅八死去
- 30 日 下町舟久保川七郎次男死去
- 31 日 大和や向山野火
- 9 月
- 2 日 峠池組板敷ウ
- 4 日 大和や酒屋普請出来
- 6 日 酒井玄秀母死去
- 11 日 拙宅 = 而庚申講致候
- 12 日 東京為三郎方と状来ル
- 14 日 満水 = 付大和やへ奇留人松五郎水死致候
- 26 日 塚田新作母死去、廿八日出棺
- 30 日 上町白井平蔵死去
- 10 月
- 2 日 上町白井利平次女房死去
- 4 日 法善寺村会有之
- 12 日 林平おきち先達中と永井松葉学校と帰宅
致し戻り今日又々罷越申候
- 23 日 道路破損普請有之候 源左衛門・源吉両
人八幡宮と善光寺へ参詣 = 行
- 25 日 大和や新酒場 = 付呼れ行
- 27 日 神明宮屋根葺替え用意致候
- 29 日 白井与十郎次女出産 稻刈初ル

11 月

- 11日 源吉発起無尽橋本 = 而発会有之
 15日 源右衛門おしつおしゃう山辺へ入湯 = 行
 22日 白井忠蔵方庚申講致候
 24日 源右衛門山辺方帰宅
 26日 桑原村関長堯方年回 = 付おふみ罷越候
 27日 上町白井庄四郎方 = 而馬喰共博奕捕縛被
 致候 寺沢金五郎義原籍取調可致裁判役所
 方申来ル 白井甲雄長女出産有之
 30日 宮尾弥四郎病氣 = 付源右衛門見舞ふ
 12 月
 1日 舟久保小七郎博奕自訴致候 = 付義理 = 行
 3日・4日・5日 郷社神明宮修繕落成 = 相成
 候 = 付棟上之義並御遷宮祭礼有之候
 6日 白井忠兵衛養子荒治郎義今晚妻迎婚礼致
 候
 8日 白井忠兵衛方年回有之数ノ餅来ル
 9日 大工二階ハシゴ段修復 = 取掛リ候
 15日 上田おさた泊リ = 来ル
 17日 松本裁判所方寺沢金五郎・峯田清三郎召
 状来ル
 19日 山田虎市家内寅吉婦夫子共今晚芦沢義郎
 隣家へ別宅致引越申候
 23日 飯沼与市倅常太郎婚礼致候
 25日 宮尾弥四郎大病 = 付見舞ふ 東京為三郎
 方方来ル
 27日 宮尾弥四郎死去致候
 28日・29日 宮尾罷越候
 30日 餅搗致候 松飾揃ひ候 瀧沢文造・宮尾
 弥三郎不幸之礼 = 来ル
 31日 吉野金吾倅嫁取ル

明治十五年

1 月

- 2日 東京為三郎方金五郎へ菓リ托シ来ル
 4日 為三郎方鉄州之書巻枚来ル
 4日 上田おさた帰ル
 5日 芦沢芦雄方出生有之
 8日 せち呼致候
 11日 旅舎会合有之
 16日 道祖神之義 = 付中町下町云々有之相済
 18日 村会議員弥四郎替リヲ投票致候

20日 道祖神之義 = 付所々江張札有之拙宅之柱
 へも張り有り引はき此帳面之中 = 入置候

- 23日 文太郎急病追々全快
 23日 郡医投票酒井玄秀へ落札
 29日 宮尾弥四郎家内日明呼致候得共不参 = 付
 遣ス

31日 つる女仕事 = 来ル

2 月

- 2日 勝手畳表替
 12日 林仙十郎方婚礼有之
 15日 おしげ誕生致候 = 付坂木兵左衛門来ル
 20日 坂木宮原兵左衛門出立帰村
 21日 舟窪金蔵倅小七郎先達懲役へ被仰付七十
 日相勤先日十八日帰村 = 付今日見舞ふ
 22日 東京為三郎方手紙来ル尤日本橋区坂本
 町学校ヨリ

- 25日 林平永井校へ行
 27日 仁熊村宮沢起造年始 = 来ル泊ル
 28日 岩淵大松晩呼ふ

3 月

- 1日 廿一日白井文作風与家出致候旨承り三月
 一日見舞ふ
 4日 芦沢癸雄六年季(忌) = 付家内 = 而霊祭致
 候
 12日 伊勢参宮人今日下向
 14日 演太郎方庚申講有之
 15日 東京為三郎方新聞外いろいろ来ル、早
 川喜兵衛方方も来ル
 17日 東京為三郎方手紙遣ス
 19日 東京為三郎方手簡来ル
 20日 下町白井庄九郎女房死去 林半五郎方庚
 申講有之

- 22日 おしま方庚申講有之
 25日 矢倉小山半平出火外式軒類焼
 29日 坂木定之助来ル つる女道者呼致候
 30日 東京為三郎方手紙来ル
 31日 町田峯吉・鶴見源吉居宅新築今日棟上致
 候 日輪雲之覆 = 而三体 = 拝ム

4 月

- 1日 善光寺坊所威徳院立寄ル
 2日 吉野金吾倅婚礼披露有之候
 2日 摂取講集会浅間 = 有之候
 4日 宮尾弥四郎百ヶ日呼れ行並談事有之候

5日 青木茂三郎妹増田長松妻 = 縁付婚礼有之
 9日 善光寺青木平悟死去之旨今日善導へ届ル
 10日 善光寺御前立開帳今日ヨリ初マル
 15日 池田村定右衛門達 = 来ル
 17日 忠兵衛方止宿之旅人昨夜盗難 = 逢ふ
 23日 裏二階繭鴨居入ル
 25日 攝取講紙官板掛ル
 27日 草煙印紙売却無之旨書上ル

5 月

1日 林静三妻おいと出産三日死去
 6日 林誠一郎方婚礼披露致候 おいと出産女子死去
 9日 道路普請有之候
 11日 道路普請仕直し致候
 14日 東京為三郎方手紙来ル
 16日 下町みすゞ座芝居小屋今日棟上 = 相成候
 22日 岩淵大松庚申請出入 = 付振舞致候
 27日 東京為三郎方手紙来ル
 28日 臼井忠兵衛方 = 而旅人死去致候
 29日 下町初ッ舞台 = 而今日芝居顔みせ致候
 29日 松代増田徳左衛門義十七日夜押込入り怪我致候由

6 月

2日 象通行致候
 5日 臼井平六郎舅婆おため死去致候
 7日 仁熊村起造来ル庭松木材呉候外 = いろいろ致候
 12日 臼井平六郎家内拙宅 = 而日明キ為致候
 24日 源右衛門林平ウケ = 入ル
 27日 楽水と申方 = 書認メ貰ヒ候
 29日 学級課掛リ横瀬泊ル
 29日 当学校試験有之候

7 月

2日 源右衛門源吉八幡宮へ参詣 = 行
 3日 吉野重兵衛生委員高礼
 6日 鶴見源吉家内新築之新家へ引移候
 7日 旅舎行事投票致候処忠兵衛与市へ投票
 8日 ミスゞ座 = 而芝居有之候
 9日 用水其外セゲサライ致候
 9日 長野遊廊青木佐兵衛拙宅へ泊リ = 来ル
 10日 林平教員之免状御下附 = 相成候
 11日 林平おきち土用休 = 付帰宅致候
 11日 筆生開札有之候

15日 神明宮氏子調印致候
 15日 東京為三郎方手紙来ル
 17日 源右衛門根三郎義一郎筆生之自令替戸長受取候
 17日 ミスゞ座 = 而浄留リ有之候
 18日 桜野 = 而旅舎会合入費源右衛門続引受之会 = 付入費今日同人へ渡ス
 18日 舟窪金蔵義十六日夜刈谷原 = 而三拾円紛失致候由

27日 鉄炮検査有之候
 28日 神明宮祭礼 = 付芝居有之候

8 月

4日 四日頃前々虎例頼病坂木 = 有之候由
 4日 東京為三郎方手紙来ル
 6日 猫子壺疋宮尾藤作方へ遺ス此夜親猫並三年前之盲猫共式疋何方へ朝行候 追々尋候処盲猫へ裏縁下 = 死骸有之候 親猫へ相知レ不申候
 8日 永井安養寺ノ大コク拙宅 = 而世話致遣し候
 11日 林平土用休明ケ候 = 付永井校へ行
 11日 長野佐兵衛方へ使之人来ル
 13日 裏湯之上家棟上 = 成ル
 19日 芦沢武三郎来ル
 27日 今般堀風壺双仕立尤扇面張交 = 致今日出来 = 付建ル
 29日 下町宮下安六親吉之丞死去

9 月

1日 安坂村四阿屋山祭礼 = 付芝居興行仕候処舞台床落チ子供死去之由
 5日 麻績校 = 而学校会議今日ヨリ初マル
 5日 ミスゞ座 = 而今晚芝居興行致候尤九日夜迄
 6日 岩淵大松招ク
 6日 桑山村 = 芝居有之候由
 7日 臼井九衛此頃中大病今日全快致候
 9日 小布施村高津三郎方手紙来ル
 10日 梶浦耕地荒神宮火花有之源右衛門・喜太郎方へ呼れ行外一同
 11日 今日ヨリ当村四阿屋山祭礼 = 付幟吹荒レ建ル
 15日 宮本 = 而蚕社宮祭礼 = 付ノロシ打上ケ致候

16日 保福寺村両角氏立寄昼飯酒出ス
 20日 学校ニ於テ議会有之候
 20日 戸長小山偵三郎昨夜松本方婦村ニ付戸長
 役辞職ノ書面持参ニ付拝見致候
 22日 野口耕地狐屋敷桐山紋八出火致候
 25日 永井文珠菩薩花火有之候
 10 月
 2日 洪水ニ付宮本牡丹山方鳥居前迄大破致候
 3日 営業議會法善寺ニ於テ仕候
 3日 裏湯上家瓦載ル
 5日 一新講之義ニ付鈴木伊三郎ヘ依頼仕様ニ
 付加入ニ相成ル
 5日 東京為三郎方方手紙来ル常三郎持参
 6日 大松招ク
 8日 坊平山ヘ下井堀村方入会之儀ニ付論出来
 致候
 10日 東京為三郎方方状来ル 仁熊村宮沢起造
 娘死去 大和や九衛実母昨年松代ヘ泊リニ
 行帰宅
 11日 芦沢徳之助女房死去
 17日 空ヘ白氣相立候
 19日 砂原桐山半弥縊死致候
 21日 大工吉蔵義弥八方借宅引越致候
 22日 直右衛門、清助家屋敷交易ノ内規定致候
 由
 23日 御上納取立
 23日 芦沢七郎持家東ノ方半分飯沼林義ヘ売渡
 可申由内々承ル
 28日 源吉義牛肉鳥鍋しるこ雑煮商売開店
 30日 大和や新酒上ケ呼れ行
 30日 直右衛門義宮本酒や娘小布施高津谷右衛
 門倅ヘ貰ハセ度之趣ニ付拙宅ヘ咄ニ来ル
 31日 赤坂新七郎田ノ稻十五巴昨夜被盜候由
 11 月
 2日 芦沢七郎義持家半分六畝歩坪飯沼林義ヘ
 今般売渡し申候役場ニ而奥印請候
 4日 坂本平野や兵左衛門方ニ而安産有之候
 8日 宮本宮川長吉小布施高津谷右衛門方ヘ参
 リ候筈
 9日 飯沼林義芦沢七郎屋敷買請今日引越候
 9日 白井直右衛門林清作家屋敷売買取極リ候
 由
 13日 宮川東太郎姉高津大助妻ニ仲人申入候処

承知ニ付内證酒差入申候
 18日 宮川東太郎方結納取極ニ罷越候
 21日 山崎鉄五郎方宮下宗平ヘ相掛リ候一条宗
 平義免訴ニ相成候
 23日 小布施高津谷右衛門同三郎結納ニ来ル拙
 宅ヘ着致候
 29日 上町森川房五郎方出火致候
 12 月
 1日 林誠一郎父八十太郎死去
 8日 林半五郎義松本方縁談取極十二日婚礼致
 度申来ル
 12日 芦沢義郎方方十六日婚礼致度十五日ニ呼
 使来ル
 14日 宮川東太郎十五日引越ニ付今日見立有之
 候
 15日 林平・おきち・おしけ・ゆき一同小布施
 嫁同道仕候
 16日 永井柳沢仁平、芦沢義郎方今日簞入致候
 ニ付源右衛門呼れ行
 16日 芦沢義郎、林半五郎長女貰請今晚婚礼致
 候
 16日 林平・おきち一同小布施方帰宅致候
 19日 芦沢義郎方ニ而嫁呼致おきち呼れ行
 20日 宮下演太郎義西條村方智内縁相整候 右
 ニ付廿四日婚礼致度申来ル
 24日 白井直右衛門引越致候
 25日 夜おせち拙宅ヘ来ル
 26日 宮下安六倅兼蔵今晚婚礼致候
 29日 中町宮尾弥四郎祖母おしづ死去候
 30日 上町刈間新造当年酒造営業相初候

明治十六末年

当春中者折々大雪ニ而諸国共同断東京杯も雪屯
 尺余も積リ候由其後三月頃方後ハ又折々雨天勝
 チニ而殊ニ冷氣ニ而草木其他作物麦杯も殊ニ外
 後レ候稻植付前々天氣打続追々暑サモ時候相応
 シ
 七月上旬ニ雨降り其後少々宛雨も降り候得共流
 ニハ不相成 八月十九日夜午後十時頃方翌廿日
 小降りニ候得共前九時過迄降り漸々流ニ相成候、
 当年ハ諸国共旱魃ニテ雨乞モ諸国ニ有之由新聞
 ニ見ユル 八月十九日過ヨリ追々旱魃ニ又々至

リ候処九月五日雨少々降り候得共流ニ不相成候
九月十三日午前九時頃ヨリ前少々宛落ル午後三
時頃ヨリ雨降りニ相成候

1 月

1 日 例年之通早朝林平神明宮へ参詣ニ行
2 日 臼井丈作内々ニ而晩年始ニ来ル
4 日 役場開キニ付源右衛門外一同出勤外五郎
吉行与十郎方一同へ酒並飯出ス
4 日 林義一郎筆生之辞職差出ス
5 日 赤坂又三郎方へ源右衛門見舞ふ然ル処又
三郎義十二月九日夜頃ニ行ト申テ何方へ欵
罷越候処追而行倒レニ相成居候由ニ候
6 日 小布施高津歳暮並年始ニ付使来ル
9 日 筆生投票開札^{ツツ}
10 日 小山富平筆生自^{ツツ}(辞)令書渡ス
11 日 飯沼林茂旧七郎屋敷へ引起祝ヒニ付呼れ
行
11 日 赤坂又三郎檢視済之書面役場へ出ス又写
此帳面之中へ入置ク
15 日 林平永井校へ出勤
15 日 旅籠屋会合橋本ニ有之ル
23 日 東京為三郎方二日方手紙来ル
26 日 舟久保金蔵孫死去
30 日 窪田陸十郎死去

2 月

2 日 宮下平弥家臼井丈作借家致置候処今般勘
定相済
2 日 刈間村治死去
8 日 旧十六年癸未正月元日
20 日 金五郎義東京為三郎方方送り物持参
25 日 為三郎方へ手紙遣ス

3 月

1 日 寺沢金五郎方へ源右衛門呼れ行
3 日 大和やとふころはしニ而呼れ行
9 日 舟久保金蔵悱小七郎死去
20 日 青木佐兵衛家屋敷証文老通臼井甲雄方売
渡シ候認メ奥印請置候、証文ハ拙宅ニ有之
候
26 日 長野威徳院方摄取講道中記来ル

4 月

3 日 臼井直平方へおふみ呼れ行
12 日 旅籠屋中へ巡查方役場於テ宿引之儀不相
成旨申越候処不服ニ付追而書面奉差出旨申

上候

13 日 渡辺文八方為三郎ノ伝言今日来ル
15 日 新聞ニ而見候処先夜中長々之間空中へ白
氣取立候由
16 日 村会開会
17 日 今晚方芝居有之候
18 日 芝居見物棧敷ニ而臼井忠兵衛義誰ニカ打
擲サル候由
19 日 芦沢源右衛門召出し候状郡役所方来ル右
ニ付三十日迄日延願
25 日 当学校試験有之候
27 日 坊平原野火有之
29 日 学校ニ而臨時会有之
29 日 林平義郡役所へ出類
30 日 南方道普請有之

5 月

1 日 北方道普請有之
1 日 葦沢癸雄弔慰金御下渡し相成候
1 日 為三郎方へ手紙遣ス
2 日 赤坂しま大病
4 日 臼井平六郎方今晚方明朝迄法事有之候
4 日 坂木方客来ル
5 日 上田おさた方宮尾九八郎へ伝言有之
6 日 舟久保金蔵次男小治郎昨晚内々嫁取り候
由
7 日 山田寅吉方今日ノフレン縫ひ有之
8 日 野口重兵外三名ヨリ分離不承知故カ印形
不致者へ説諭願出ル
9 日 坊平平三郎方へ源右衛門・九衛・孝太郎
三人呼れ行
10 日 坂井村山崎耕地角力興行有之
10 日 裏水道上桶拵替致候
14 日 坊平芦沢九衛悱君次郎、近藤菊蔵弟子入
ニ付今朝菊蔵方へ源右衛門呼れ行
15 日 源右衛門昨日方少々不快
17 日 箇老ツ今朝吉野紋蔵ニ托シ坂木平野やへ
遣ス
19 日 臼井立三東京方帰宅
20 日 神明宮玉垣落成ニ付今日燈花致候
21 日 宮尾藤作義宮下平弥方借家致今日引越申
来ル
22 日 赤坂しま義快氣振舞致度近所ヲ招ク
22 日 臼井立三帰宅ニ付源右衛門見舞ふ

23日 橋本無尽有之源右衛門行
 24日 白銀や無尽有之源右衛門行
 28日 臼井文作長女上井堀飯森又左衛門方縁談

取極リ内證酒入ル

28日 為三郎方々状来ル
 29日 坂井村漸々耕地若林元儀兵衛死去候由
 29日 仁熊村宮沢起造泊ル

6 月

1日 松本泉平女房おただ大松方へ泊リ＝来ル
 2日 吉野重兵招キ＝付橋本へ呼れ行
 3日 小布施高津大助方々土産来ル
 3日 大和國ヨリ薬水送り来ル
 4日 堰下堀
 5日 梶浦宮下染四郎娘野口村宮下信治郎妻＝
 仲人致度源右衛門罷越ス
 6日 郡役所々学務委派出当校へ立寄ル
 7日 戸長役場＝於テ臨時村会開ク
 7日 今晚々明朝岩淵大松方年回＝付おふみ手
 伝ふ 後源右衛門呼れ行

8日 岩淵大松方昨夜同断呼れ行
 8日 臨時村会有之候処云々有之候
 9日 舟窪金蔵証文認直シ候
 10日 林平夫婦坂本々帰宅
 13日 町田代八方へ病氣見舞＝行
 13日 昨夜甘露有ル
 15日 北山山ノ口明ク
 16日 宮川定十ノ寅吉書来ル
 19日 近々田植初メル
 27日 東京為三郎方々状来ル
 28日 御役所々御派出＝付上納不納之者取調可
 申出旨御達

28日 臼井文作娘上井堀村へ今日縁付行
 29日 源吉義十円掛老々月置之無尽発起仕候

7 月

3日 町田峯吉方長野町喜兵衛御対判持参之由
 10日 為三郎方へ状出ス
 13日 臨時会先日相休候処今日相開ク
 15日 為三郎方々端書郵便来ル
 16日 上ケワク出来致候
 19日 上田おさた泊リ＝来ル
 20日 畦畔調之人別投票開キ
 21日 聯合会開会
 25日 当学校試験有之候

26日 源右衛門・拾三郎・富平御召喚状来ル
 29日 林静三女子出産

8 月

1日 上田おさた帰宅
 1日 桑原村六左衛門昨日死去郵便＝而申来ル
 1日 臼井善五郎今日羅亮致候
 2日 臼井平六郎裏へ井戸堀ル
 5日 楡ノ木川ノ筋大堰下トヨ拵ひ候
 5日 臼井九衛発端之大無尽今日二番会橋本＝
 有之候
 10日 林清五郎裏へ井戸堀ル
 10日 当校林静三ノ教員相断候
 13日 山田々と先日東京へ行昨夜帰宅
 15日 芦沢七郎々山崎鉄五郎掛リ出訴候
 27日 芦沢芦雄方＝而裏へ井戸堀ル
 28日 為三郎方々状来ル
 30日 上田城田喜右衛門泊リ＝来ル
 30日 日輪紅ノ如シ

9 月

3日 臼井直右衛門来リ泊ル
 7日 為三郎方ヨリ状来ル
 9日 山崎金比羅山＝花火有之萬鉄方＝而見物
 致候
 10日 警察署長役場へ来ル町並絵図面写ス
 11日 上田喜右衛門帰宅致候
 13日 東京々郡役所へ為三郎義小学校教員＝從
 事致度願＝付問合有之＝付請書上ル 依テ
 文面扣置候
 14日 林豊次郎・岩淵大松方借宅引越ス
 14日 神明宮定例ノ花火有之候
 15日 下町大神宮祭礼停止＝付内々角力致候由
 16日 臼井忠兵衛妻裏井戸へ身ヲ深め候処直＝
 引上ケ子細無之候
 17日 東京為三郎方へ状遣スニヶ月ノ返書
 17日 臼井九衛方盗難逢ふ
 20日 庚申講会致候 御上納取立
 21日 法善寺方丈先日北安曇郡へ趣キ候＝付拾
 三郎今日迎＝罷越候
 22日 下井堀村古峯山＝倒死有之候
 24日 永井文珠山＝花火有之候
 24日 浦野村滝沢太兵衛来ル
 25日 大松朝飯＝招ク
 26日 宮下常弥家屋敷宮尾九八郎方へ抵当ノ咄

初ル

30日 畦畔調初メル

10 月

- 1日 常弥家屋敷九八郎方へ抵当 = 取極マル
 2日 弥々取極リ = 相成申候
 4日 上田荒井甚平妻おその死去
 4日 山田虎市東京方帰宅致候
 5日 坪田おはる朝飯来り候
 5日 鈴木梅吉鑑札願 = 付取次候
 5日 林義一郎妻安産仕候
 5日 為三郎義東京方来ル今日着致候
 5日 酒造鑑札九衛へ渡ス
 8日 大和や親子口論之由
 12日 為三郎東京へ出勤致晩上田喜右衛門方泊
 リ之積リ = テ行
 12日 源吉義立三方方借用 = 付源右衛門受人峯
 山境界 = 付派出有之拾三郎案内 = 行 白井
 立三方へ岡六門先生被参候由
 13日 先年煙草印紙売捌所之官板下渡シ候年月
 日ヲ可書上旨御達 = 付明治八年十二月廿三
 日ト書上候
 16日 演太郎舅八月三十日死去 = 付今晚義理行
 17日 大和や井戸堀出来棟上 = 相成候呼れ行
 18日 郡界之儀 = 付御派出有之候打寄談事仕候
 20日 佐藤宇平娘死去之由
 21日 為三郎方端書来
 23日 白井立三土蔵へ盗賊入盗取候由
 23日 峯山一件 = 付代言人方来ル 右 = 付会
 合有之
 24日 白井九衛方ノ井戸水吹上リ候珍敷キ井戸
 = 候
 24日 東京朝野新聞 = 見エ当村峯山事件ハ勝利
 26日 白井立三今朝峯山ノ件 = 付東京へ出立致
 候
 26日 白井九衛井戸今朝水汲初メ
 27日 岩淵大松東京方帰国候
 29日 宮下直一郎死去致候由
 31日 越後やおはま上田方今夕帰宅
 11 月
 2日 源右衛門宮本酒屋へ行
 2日 上田城田喜右衛門来ル
 4日 東京為三郎方手紙来ル
 5日 今日稲田こき致候

- 7日 上田城田喜右衛門帰宅
 10日 おたみ和合へ泊リ = 行
 11日 林平保福寺村小沢和市方へ行
 11日 林謙吾方裏溜ノ中へ赤児捨有之候由
 14日 夜保福寺村出火候由
 15日 東京為三郎方新聞来ル
 16日 白井忠兵衛養子今晚婚礼致候
 16日 東京為三郎方新聞来ル
 16日 大和や新酒披露致候
 20日 庚申大松当番之处拙宅於テ会致候
 21日 宮下演太郎方娘つる女女子安産致候
 22日 丁内持之金宮尾弥四郎方へ替替 = 成ル
 22日 東京為三郎方新聞来ル
 22日 林半五郎嫁出産有之候
 27日 東京為三郎方新聞来ル
 29日 同断
 12 月
 2日 宮川宗五郎宅 = 於テ芝居役者捕縛 = 相成
 ル
 4日 東京為三郎方新聞来ル
 5日 御上納取立
 7日 吉野金吾孫小児死去之由
 9日 為三郎帯代金壱円坂木平野やへ遣し候処
 其金員坂木方上田喜右衛門方へ遣し候旨追
 而坂木方来ル
 10日 宮下演太郎方小児三日湯致候
 14日 当月五日地方税取立郡役所へ拓三郎持参
 之处十七年一月迄延期 = 相成候 = 付持帰ル
 14日 為三郎方手紙来ル
 14日 浦野太兵衛方手紙来ル
 16日 白井立三儀戸長役十一月十一日差出シ置
 候由今日一同承知致候
 17日 道普請有之候
 17日 地震有之候
 18日 為三郎方へ状出ス
 20日 白井立三儀免役 = 相成候
 21日 揺ノ川揺仕替致候
 22日 為三郎方手紙来ル
 23日 同人方へ手紙出ス
 26日 白井福一郎戸長役被命候
 28日 役場閉場 = 候
 28日 煤拂致候
 29日 白井立三東京方帰宅致候

明治十七申年

1 月

- 7 日 東京為三郎方^と手紙来候年始状
 8 日 大判呼致候
 9 日 東京喜蔵方^と年始状来ル
 12 日 小布施高津^と和市年始物持参致候
 12 日 丸山善吉娘宮下宗平方へ嫁^ニ行
 13 日 永井松葉学校開^ニ付林平一同行
 15 日 橋本^ニ於テ旅籠屋会合有之候
 18 日 林清作二女小島金三郎長男妻^ニ縁付ク
 19 日 林清五郎儀此頃中不快
 20 日 芦沢七郎方庚申講致候
 21 日 大松拙宅へ逢^ニ来ル
 21 日 佐藤宇平死去
 26 日 寺沢金五郎長男亀作妻^ニ臼井類蔵長女貰
 請今晚引越致シ源右衛門仲人
 26 日 上条善十教員当校へ入校今晚^と拙宅^ニ寄宿

2 月

- 7 日 東京為三郎方へ手紙遣ス但返事
 12 日 夜野口村吉野仁三郎宅出火焼失
 16 日 小坂村横沢幸作年始^ニ来ル
 20 日 和合村久次兵衛向川原^ニ而道^ニ迷ひ候
 26 日 向菊蔵方庚申講^ニ付おふみ手伝^ニ行
 28 日 寺沢金五郎妻おてい嫁同道^ニ而逢^ニ来ル

3 月

- 3 日 役場^ニ而村会開会仕候
 4 日 東京為三郎方^と端書郵便来ル
 6 日 臼井九衛親父三十三回忌^ニ付呼れ行 但
 源右衛門
 10 日 東京為三郎方^と手紙来ル
 13 日 学校敷地之儀愈々示談^ニ相成候
 14 日 平野や定之助年始^ニ来ル
 15 日 東京為三郎方^と手紙来ル
 16 日 烟草印紙売捌官板返納儀御達有之候
 22 日 高野おなみ長々柳沢弥八方借家致候処病
 氣^ニ付今日高村茂平方へ引取候
 27 日 東京為三郎方へ状遣ス
 31 日 烟草印紙売捌廃業願書郡役所へ差上候
 4 月
 1 日 東京為三郎方^と二月廿八日出之包物今日

岩平方より来ル

- 8 日 烟草印紙売捌官板戸長役場へ差出シ候
 9 日 坊平宮沢平三郎母死去致候
 10 日 飯沼林茂不用品糶売候
 14 日 芦沢義郎小児死去
 17 日 林静三今日ヨリ安坂学校へ被雇教員^ニ行
 20 日 燕来ル 林周太郎東京へ出立
 20 日 ゆき母来ル泊ル廿四日出立
 25 日 林平一ノ川校へ試験^ニ被頼行
 26 日 九八郎^と平弥宛之五拾円借用證文願書平
 弥方へ源右衛門ヨリ證文今般差戻し申候

- 27 日 林半五郎周太郎東京^と帰村

5 月

- 3 日 中川村召田新平来ル
 7 日 上田^と宮下おきた泊^ニ来ル
 7 日 臼井修作儀巡査^ニ捕縛^ニ相成松本獄囚へ
 被仰付候由

- 12 日 臼井甲雄長男出生候
 12 日 学区会開会
 17 日 若林与七郎教員免状御取上ケ^ニ相成ル
 21 日 尾張国五機村岩田清助娘七才貰ふ
 21 日 桐山幸八死去候
 27 日 真米耕地宮下竹十郎出火焼失
 31 日 宮本宮下幸作妻死去

6 月

- 1 日 仁熊村宮沢起造養子妻迎ヒ候筈
 1 日 上田宮下おきた出立上田へ帰ル
 7 日 林浅一郎母死去候
 11 日 源右衛門少々不快
 11 日 山ノ口明ク
 12 日 天王畑畦畔草刈採之儀彼は繕レ候
 16 日 小林新兵衛^と先月中同人娘貰置候処不熟
^ニ付今日同人へ渡ス
 27 日 徴兵呼出し来ル

7 月

- 1 日 臼井修作儀先月入牢之処廿八日無罪放免
 被仰付由^ニ付源右衛門見舞ふ
 3 日 衛生委員交付^ニ付芦沢芦雄藤原喜之作今
 日ヨリ勤メル
 6 日 昨夜山崎鉄五郎方へ盗賊忍入損失致候
 8 日 山田虎市死去
 9 日 柳沢おちよヨリ佐兵衛方へ可遺品物預ル
 12 日 山田寅市方へ東京京橋銀座町二丁目山田

屋巳代吉来ル

- 17日 白井伝作父桑右衛門死去
 24日 林やへ寄留おすて小児死去
 25日 衛生委員投票開札 高礼芦沢芦雄
 27日 東京ヨリ為三郎来ル
 28日 神明宮祭礼下井堀村中休足所致候
 28日 城田喜右衛門来ル
 29日 静三小児誕生ニテ餅搗
 31日 白井軍翁死去
 8 月
 5日 松本師範校へ林平外一同罷越候
 6日 村会議員投票開札若林平播郎・小山偵二郎・吉野重兵・芦沢芦雄・藤原喜之作・林静三
 8日 為三郎儀東京へ出立致候
 13日 白井直平方長女出性
 13日 東京喜兵衛方為三郎無滞着之端書来ル
 15日 おふみ塩崎北村友右衛門方へ行
 15日 八幡宮今般縣社相成祭有之候
 16日 学務委員投票開札林静三・小山偵二郎・藤原喜之作・宮下喜太郎
 20日 城田鉄三郎来ル
 24日 山口音松儀昨夜松板宅駄被盜候
 24日 旅舎行事芦沢義郎刈間弁次郎ニ極リ
 25日 平林兵左衛門来ル
 26日 諸国大雨風有リ
 30日 林浅一郎妻おてう昨夜死去
 9 月
 1日 林平外一同松本へ帰宅
 2日 大夕立ニ付芦沢七郎畑へ水押入依テ役場へ願ふ
 4日 美すゝ座ニ而芝居有之
 5日 向裏川添道戸長見分ニ而仮杭打候
 7日 小布施高津三郎来ル
 19日 四阿屋山祭礼ニ付当番梶浦芝居致候
 20日 上田城田鉄三郎並母おつや来ル
 26日 太神宮祭礼ニ付勸進角力興行相談
 29日 源右衛門儀筆生役辞職願書出ス
 10 月
 3日 太神宮祭礼ニ付鳴尾山清次郎頼ニ付角力興行致候
 4日 宮本宮川平八郎表ニテ勸進角力興行
 4日 上條善十自村へ帰宅

- 6日 源右衛門郡役所へ御召喚状来ル右ニ付尤筆生一同召出ニ付拓三郎ニ依頼致候
 7日 寺沢金五郎東京へ出立
 2日 白井甲雄東京へ見物ニ出立
 8日 源右衛門願ニ付辞令書御下附相成ル
 11日 おむら・おもん呼ふ
 14日 青木佐兵衛先年長野鶴賀村へ寄留致居候処都合ニ寄リ今般郷村之願書戸長指令書役場へ差入候
 18日 刈間甚八郎娘死去
 20日 免川添道普請丁内打寄落成致候
 20日 渡辺嘉兵衛死去候由
 19日 矢久村召田新平屋飯喰ふ
 21日 下戸倉村坂井賤雄死去之由
 28日 喜右衛門上田へ帰宅
 28日 巨燧明ル
 28日 長野縣令大野誠殿死亡
 30日 白井甲雄・寺沢金五郎東京ヨリ帰宅
 31日 宮下演太郎居宅棟上致候
 31日 平野や出産有之候
 31日 吉野金吾裏長屋棟上
 11 月
 6日 若林雄造三男捕縛ニ相成ル
 8日 東京為三郎方ヨリ状来ル
 9日 本月上旬頃より上州辺に暴働発起致候
 13日 おとし拙宅へ来ル
 14日 東京為三郎方より状来ル
 14日 飯沼林茂方出産
 18日 長野県令木梨精一郎本月五日より事務ニ掛ル
 19日 東京為三郎方へ状出ス
 22日 城田喜右衛門来ル
 22日 刈谷沢村出火有リ
 22日 町田代八女房死去
 27日 林平上田へ行
 28日 喜右衛門上田へ帰宅
 12 月
 5日 東京為三郎方より端書来ル
 12日 坂井村戸長小川原利兵衛十日捕縛之由
 12日 永井玉井彦永儀捕縛之由
 19日 煤拂致候

明治十八 酉年

昨十七年冬ヨリ当春二月初旬迄之寒氣ハ別段之儀ニ付先ツ三十年以来之寒氣ト評判有之候、東京為三郎方手紙ニ者五十年以来之寒氣と申越候尤当方杯雪ハ昨年杯と減少ニ候、又当三月初旬ヨリ四月十二三日も雨天続キ廿四五日比迄天氣六月ニ至リ雨多シ、六月廿九日と雨降り七月一日雨歇、雨大風二日前十時頃風歇夫と毎日雨降り候得共適々天氣、七月十九日とよふ、廿四日比と天氣ニ成ル、夫とよふ明又残暑も天氣暑ハ八十一度位、残暑ハ八十七八度と九十度もあり右ニ付稲作ハ只今之分ニテハ豐年、野菜ハ家脇ハ野虫ニテ大違ヒ、大小豆も当リ、九月十八日とメツキリ冷氣ニ相成ル、然共天氣ハ打続ク

1 月

- 4 日 東京為三郎方と砂糖来ル
- 6 日 東京為三郎方と年始状来ル
- 8 日 坂木日奈沢宮原善彦来ル
- 12 日 林平日向校へ開校ニ付罷越候
- 12 日 上田泉や甚三郎次男死去
- 14 日 上田彦三郎母死去
- 18 日 林平義郎宮川へ行
- 19 日 林平儀一ノ川久保田新次郎方へ昨年ノ祝義今日行
- 21 日 坂木中沢四郎篠井美濃や栄次郎宿持参年始
- 23 日 林平おきち・おしけ一同日向村校へ引越候
- 23 日 花やニ而一新講集会先と有之候
- 23 日 寺沢金五郎へ貸金今日請取
- 26 日 常三郎女房おとハ難産有之候
- 27 日 坂井村戸長若林義七郎外貳人書本証文ニ而金員貸渡し申候尤本年六月限り

2 月

- 2 日 林半五郎方午後十時頃二階巨燵と火出ル騒ク
- 6 日 東京為三郎方と手紙来ル
- 9 日 林謙吾儀不残之儀有之ニ付鑑獄へ被仰付候由

- 14 日 林豊治郎東京へ参リ為三郎方と手紙持参
- 15 日 林謙吾先日裁判所ヲ欠逃シ候由
- 15 日 旧正月元日
- 17 日 宮下平重徴兵輜重輸兵八百廿八号配賦ニ相成ル

- 18 日 東京為三郎方へ太織縞送ル
- 18 日 上田宮下平弥儀安太郎へ来ル
- 20 日 林平一日日向校と来ル
- 21 日 滝沢礼四郎昨夜盗ニ逢ヒ
- 24 日 坂木平林兵左衛門来ル
- 26 日 東京喜兵衛方へ手紙遣ス
- 26 日 林与平死去
- 3 月
- 3 日 永井小川原善蔵母死去
- 4 日 日向村坂井村へ聯合村ニ付麻績村へ合併ニ相成可申又戸長ハ臼井福一郎へ被仰付由承候

- 7 日 坊平宮沢平三郎方婚禮有之由
- 9 日 臼井平六郎娘縁付方之儀ニ付申来ル
- 11 日 東京為三郎方と送り物水出寅三郎持参
- 12 日 同人方へ端書郵便出ス
- 11 日 窪田佐平次・同作右衛門方婚禮有之
- 14 日 昨夜一ノ川若林雄造方少々出火之由
- 15 日 聯合村之儀承リ候丈ケ招
- 16 日 岩淵大松招ク
- 21 日 東京為三郎方へ氷豆腐遺ス
- 22 日 大和やとふころはし(例年)通り祝ふ
- 26 日 杣喜三郎仕事来ル
- 26 日 東京喜兵衛方と年始来ル
- 26 日 池田村おもん来ル
- 31 日 源吉家内一同時里へ借家へ引越ス
- 4 月

- 1 日 東京為三郎方へ手紙出ス
- 3 日 平六郎婆坂木小宮山豊太郎方へ縁付遣スニ付呼使来ル
- 6 日 養女おたい儀崎崎村塩入金之助娘養女ニ貰受候
- 10 日 臼井平六郎婆坂木小宮山豊太郎方引越候
- 12 日 おまさ儀花や仕事済ニ付拙宅へ帰宅
- 13 日 林平一同日向校へ帰ル
- 16 日 おこふ儀坂木と今日里開ニ来ル
- 19 日 矢久村召田新平来ル
- 19 日 芦沢七郎方出産有之

- 19日 林豊治郎婚礼致候由
 20日 東京為三郎方と十七日出之書状来ル
 22日 風呂へッ井破損
 27日 明日と四阿屋山開帳
 28日 晩柳沢仁平返金 = 来ル
 5 月
 2日 十三才小女おたい林静三方へ譲ル
 4日 上井堀村出火有之
 6日 先日新作後妻池田村と来ル、今晚逢 = 来ル
 7日 芦沢徳之助儀盗ヲ致候 = 付巡査の捕縛 = 相成候由
 9日 上蔵二階コロバシ破損
 9日 おまさ国と手紙来ル
 11日 白井直右衛門妻おかじ十三年忌
 14日 白井九衛文庫蔵建直し
 15日 上町刈間新造方拂物有之
 16日 上町寺沢金五郎長女上田秋葉村へ縁付行
 20日 下町町田代八死去七十四年
 23日 白井平六郎悴済知郎東京へ罷越候、但シ十日 = 家出
 24日 飯沼与市悴常太郎今晚七嵐村と嫁取り候由
 25日 本山巡査と七子内金貳円拾銭取残リ壱円かし
 28日 日向村 = テおしけ麻疹致候 = 付おふみ日向学校へ行
 28日 旅舎会合橋本 = 有之候
 29日 善光寺と青木佐兵衛外客人来ル
 29日 赤坂新七郎方 = 而旅人死去
 30日 裏口欄破損致候
 31日 裏門並溜の上屋根葺替致候尤本葺致候
 31日 済知郎東京と帰宅之由
 6 月
 2日 おしけ麻疹致候 = 付おふみ日向学校へ行
 2日 旅舎会合橋本 = 有之候
 5日 佐兵衛松本と拙宅へ帰宅
 7日 おふみ佐兵衛日向校へ行
 8日 吉野金吾娘山崎へ嫁ス
 8日 佐兵衛家屋敷白井甲雄方へ十六年三月仮りの売渡候処今般買戻し取消書聞届 = 相成候
 9日 佐兵衛と酒井玄秀へ貸金証文拙者買請候
 14日 上田と五十治来ル茶出ス
 16日 佐兵衛三女入帳役場願ふ
 18日 昨日督業訓導来ル、今日と授業初マル
 20日 巡査三村君夫婦当家出立相成ル
 24日 宮下常弥券状名前替未た不致不都合 = 付役場と書面来ル
 26日 宮下平弥儀 = 付浦野滝沢太兵衛方へ飛脚遣ス
 26日 宮下平弥へ券状書替願出明日九八郎と差出可申答 = 申付置候
 28日 高萩学校教員佐藤房次郎夫婦拙宅 = 泊リ
 29日 右佐藤夫婦並巡査山崎登自国へ立帰リ = 罷越 = 付今日出立、武田常吉借 = 行
 30日 上町白井清吉老母死去、七月十九日葬式出棺之由
 7 月
 1日 矢倉村小山澄四郎老母葬式、雨降り、洪水
 7日 東京為三郎方へ手紙出ス
 8日 青木佐兵衛家屋敷子細有て十六年売渡又今般買戻ス
 9日 林嘉忠太悴萬吉死去
 11日 東京為三郎方へ手紙出ス
 15日 懇心会今日拙宅 = 而致候
 19日 庚申講致候
 21日 岩淵菊次朝飯 = 招ク
 23日 山田おまさ東京へ出立
 24日 万鉄悴麻疹致候
 25日 矢倉村小山久五郎捕縛 = 成ル
 27日 佐藤房次郎一昨夜帰リ候迎拙宅へ立寄ル
 31日 金山勇助無尽発起 = 付五十銭掛捨致候
 8 月
 3日 佐藤房次郎泊ル、後又同人妻並兄泊ル
 6日 白井九衛酒蔵帳場へ盗人入ル
 8日 おふみ坂木へ泊リ = 行
 9日 矢久村召田新平来ル
 10日 東京為三郎方と来ル
 10日 林謙吾居宅西の方へ三間程足し造ル
 11日 東京為三郎方へ返事出ス
 11日 上町白井門右衛門女房死去
 12日 白井直平方誕生呼れ行
 12日 白井庄四郎死去

13日 芦沢竹五郎方へ盗人入ル不難
 15日 宮川東太郎寅之助兩人引立之由承ル
 16日 宮下改名平弥ト御聞届ニ相成候
 17日 岩淵大松大病之旨申来ル
 17日 東京為三郎方と状来ル
 17日 林豊次郎イナリ山ニテ病氣ノ由
 18日 岩淵大松死骸松本と着
 22日 旧七月十三日
 23日 新藤今日と掛初ル
 24日 芦沢七郎前石橋林謙吾奇特ニテ掛ル
 25日 仁熊村宮沢起造死去申来ル
 25日 学務委員並衛生委員廃止之由
 28日 越後直イヅ古川治市郎方と人来ル
 9 月
 2日 東京房次郎方と手紙
 5日 岩淵菊司松本と来ル
 7日 菊司儀九衛ヲ招キ度ニ付拙宅招ク
 9日 四阿弥山祭礼日向校と来ルおこふ花やへ
 泊り来ル土産来ル
 9日 柳沢佐一郎来ル
 10日 舟窪金蔵へ貸金儀菊司と咄呉候得共不行
 届候
 11日 東京佐藤房次郎方と九日出之状来ル
 12日 菊司松本へ帰ル
 12日 日向校と早々取ニ来ル但小使一人勝
 12日 矢久村古田仙十郎八幡宮参詣立寄ル
 13日 古田仙十郎来ル
 15日 三村芳三郎荷物遣ス
 17日 花やおむら・おこふ招ク
 18日 白井平六郎どぶづき致候
 20日 岩淵菊司方庚申譜
 21日 林静三裏上家建ル
 27日 長野佐兵衛方と鑑子(カンフロ) 売ッ来
 ル
 28日 居宅中柱根接致方取掛ル
 10 月
 2日 桑原関長曉方三十回有之不参
 4日 菊司方四十九日法事
 4日 東京為三郎方と十月一日出書状来ル
 4日 阿弥陀堂墓所石垣拵ひ候
 7日 東京為三郎方と四日出状来ル又当方と返
 書遣ス
 7日 今日蟬鳴

11日 おきち・おしけ坂木へ泊リニ行
 15日 林豊治郎快気振舞呼れ行
 15日 林平外一同松本と帰村
 17日 西嶽白ク見ゆる
 18日 源右衛門おふみ写新致候
 19日 吉野金吾孫女死去
 20日 東京為三郎方端書郵便来ル、但廿一日出
 立之旨
 20日 青木与作方へ西沢甚四郎・米蔵参り候事
 21日 白井平六郎方離座敷建ル
 22日 東京と為三郎来ル
 22日 町田きみ方三才小児死去
 24日 塩崎村北村友右衛門舅婆おるい死去
 30日 為三郎東京へ罷越ニ付今朝出立
 30日 高橋氏自国へ立帰リニ行
 30日 岩淵菊司家督相続願ニ付拙者保証人ニ立
 ツ
 11 月
 1日 青柳八郎養母死去
 3日 東京伊藤松雄方と為三郎宛状来ル、付札
 ニテ返ス
 4日 東京為三郎方と葉書郵便来ル
 5日 佐藤房次郎方と状来ル
 7日 おふみ桑原関方と塩崎友右衛門方へ行
 7日 永井小川原利兵衛当町通行長野へ送られ
 候
 7日 桑原関長曉母立寄
 9日 房次郎方と郡役所へ年賀之状ト二通郵便
 所へ出ス
 11日 新蕎麦大和やへ遣ス
 13日 寺沢忠五郎長男九蔵先年家出致今般立戻
 リ候由
 14日 おたゝ・おいせ松本へ行
 15日 岩淵菊司東京へ出立
 15日 佐藤房次郎来ル
 16日 桑原関寛左衛門死去之由申来ル
 17日 佐藤房次郎出立横川へ行
 18日 越シ耕地宮下おしゅん死去
 19日 芦沢徳之助先日懲役へ送られ期明ニ付此
 頃帰宅
 21日 矢久村古田新平来ル
 23日 御布告今般駅の改ニ相成ル由
 24日 東京為三郎方と葉書来ル

27日 おふみ儀林誠一郎方産之義理 = 行
 28日 駅役人三人投票致し役場へ出ス
 12 月
 1日 源吉無尽橋本 = 有之
 1日 高井郡小布施村高津大助父名右衛門死去
 之由申来ル
 1日 おたみ屋根差萱致候
 4日 桑原関寛左衛門方おふみ悔 = 行
 8日 下町宮下七郎次母死去
 9日 宮川権三郎死去
 14日 寺沢金五郎東京へ出立
 15日 刈間染太郎祖母死去
 15日 桐山重吉焼失
 16日 東京為三郎方より十三日出之状来ル
 16日 駅通掛リへ旅舎調印致候
 19日 塩崎村北村友右衛門来ル
 20日 旅舎名と営業願書調印致候
 24日 寺沢常三郎昨夜東京より帰国
 25日 寺沢金五郎東京より帰国
 27日 林誠一郎孫（死去之由承）

明治十九 戌 年

1 月

1日 松節 = 付国旗ヲ式本打違ヒ = 建飾ル
 3日 会田村堀内五郎儀柳沢お千代一条 = 付談
 示 = 来ル
 4日 芦沢義郎方せち呼 = 付林平呼れ行
 5日 せち呼致候
 5日 晩巡査及ヒ外静三義郎金五郎呼ふ
 8日 東京為三郎喜兵衛菊司方へ年始状遣ス
 9日 静三方セチ呼 = 付呼れ行
 13日 白井甲雄薬舗店源右衛門より無心候処譲り
 可申旨答ふ
 13日 林平妻子一同日向校開校 = 付罷越候
 13日 東京為三郎方より十日出之状午前至着
 15日 東京為三郎方より十二日出之状来ル
 16日 髪結おしつ家ちゃん壱円持参候
 16日 坂木升や老母死去手紙来ル
 16日 林謙吾栄一郎気分取違ひ之由
 17日 矢久村古田仙十郎立寄
 17日 白井豊太郎女房離縁 = テ柳沢弥八自宅へ
 借家致候

18日 武田常三郎定使屋敷へ借家引越ス
 19日 巡査矢崎氏大町へ転寮之由
 20日 近藤菊蔵方婚礼有之候
 21日 高橋鉄三郎自国より帰校拙宅へ立寄
 21日 東京為三郎方へ返事遣ス
 23日 白井九衛東京より帰宅拙宅へ来ル
 31日 白井平六郎持家近藤菊蔵借家致居候家屋
 敷今般林静三方売却の咄致し尤今晚おむら
 び被咄候

2 月

1日 清五郎家屋敷売却致候旨咄し来ル又夕方
 白井平六郎右之咄 = 来ル
 1日 駅通旅舎強行之儀三月一日迄延引之幹事
 方より通達
 2日 東京為三郎方より状来ル
 2日 林謙吾方悴栄一郎婚礼有之由
 8日 日向校より林平一同寒休 = 付帰宅
 8日 松本旧東町大橋際より安原迄焼失之由尤火
 元へ鍛冶町ヨリ、火元へ降旗茂七之由
 11日 佐藤房治郎女房おうめ来ル
 11日 中町白井吉右衛門死去当時新吾父
 9日 寺沢亀作女房ふち安産之由但女子
 17日 白井九衛・白井福一郎山社吉池常衛晩招
 ク

18日 松本出火之次第実正之儀追々承ル
 19日 林平一同日向校へ出頭致候
 22日 青木太十郎巨燵より出火 = ならんとす
 23日 東京為三郎方より状来ル
 26日 東京為三郎方へ葉書出ス
 27日 昼や寅吉仕事来ル
 27日 矢久村古田新平方より伝言有之
 27日 長野佐兵衛方より銘酒来ル

3 月

1日 東京為三郎方へ届物送ル稻荷山中牛馬会
 社へ出ス
 6日 平沢村へ手紙出ス
 7日 塚田新作遠足致候
 7日 白井九衛方トウコロバシ呼使来ル
 10日 会田堀内五郎儀桜野お千代事件 = 来ル
 11日 林謙吾儀東京へ出立之由
 12日 東京為三郎方より葉書状来ル
 14日 寺沢金五郎方小児三日湯祝ヒ致候
 15日 蚕致ス者役場へ印形持参致候

18日 ゆき女儀木曾平沢へ罷越候
 20日 峯山事件ニ付又々一同印形致候
 25日 坂本平林与惣治死去
 26日 岩淵菊治家敷石垣崩拵ふ
 29日 教員交代今日極リ
 30日 林平儀日向校退去致候
 4 月
 1日 当学校当分法善寺仮学校
 1日 駅伝之儀今日と施行可致候
 2日 会田堀内五郎長野と帰り金員持参受取
 6日 古田仙十郎来ル昼飯喰ふ
 10日 おふみ坂本へ泊リニ行
 11日 坂井村学校ヲミノ支校宮下昇之宅仮校
 14日 東京早川喜兵衛巳代吉方と年始状来ル
 16日 おふみ坂本と帰村
 21日 松本中町升や与兵衛立寄ル
 23日 味噌炊致候
 26日 上田と芦沢五十治年始ニ来ル
 5 月
 1日 坂本平林兵左衛門来ル
 2日 霊祭執行仕候
 2日 おしか儀四月三十日入校致四日初テ校へ
 出ル
 2日 巡査岡崎本山宮下免職藤堂良昌巡査来ル
 7日 東京為三郎方へ状出ス承リノ一条
 8日 長野佐兵衛方へ手紙遣ス封ノ俣返却致候
 13日 大岡村内棚原村と新作儀ヨリ手紙来ル
 13日 東京為三郎方と十三日出ノ状来ル承リ差
 出しノ事
 19日 臼井平六郎方離座敷屋根葺棟上ニ付投餅
 飾り来ル
 21日 林謙吾五月廿一日無罪放免ニ相成候由
 22日 上堰下凌ヒ有之候
 22日 猫子ヲ三ツ産む
 23日 東京岡崎方と手紙来ル
 24日 宮川虎太郎儀去ル廿日責附被仰付候由
 27日 下井堀村ニ壱軒出火有之候
 29日 当町囲殺積替致度願ニ付今日開蔵初貸渡
 ス
 30日 会田堀内氏今日長野佐兵衛方へ行答
 30日 寺沢金五郎来ル警察署据置之由申
 30日 東京為三郎方へ状出ス先日送り物不屈之
 旨申遣ス

31日 林静三会田村戸長拝命
 6 月
 5日 林静三儀会田村へ今日と出勤候ニ付朝罷
 越
 7日 東京為三郎方と三日出之状来ル
 7日 堀内五郎長野と帰り拙宅へ来ル
 7日 森井庄八荷物今日駅伝へ出ス
 9日 芦沢七郎儀越後と帰宅
 10日 林久吉松本と帰宅
 13日 東京為三郎方と送り物着尤先月十三日出
 ノ品 東京為三郎方へ着荷ノ状遣ス
 15日 芦沢芦雄萬店先月中相止申候
 16日 東京為三郎方と十二日出ノ状来ル
 16日 上方筋コレラ病発起ニ付巡査巡回清潔度
 之見回り
 19日 芦沢林平坂井支校へ在勤
 20日 高橋鉄三郎会田町へ戸長役場筆生ニ罷越
 候
 22日 岩淵菊司松本と来ル
 25日 鈴木梅吉財産物改方
 25日 宮川虎太郎鑑獄御免ニ付帰村立寄ル
 28日 信府統記本十冊大和やへ遣ス
 30日 赤坂与蔵儀自宅地共林謙吾方へ百八十円
 ニテ売渡ス 又謙吾持ノ家屋敷但喜久屋宇
 平ノ間々家屋赤坂与蔵買受候但四十円ニテ
 7 月
 1日 本山氏今日と坂井校へ授業生ニ出勤
 4日 警察署宮尾弥四郎宅へ転宅致候
 4日 為三郎宅新七郎立会ニテ明渡受取
 6日 中町臼井豊太郎裏既ニ火事ニ可相成候処
 防消致候
 9日 上町田中や友右衛門死去之由
 12日 臼井留作父庄兵衛死去
 12日 赤坂与蔵居宅交易引越候
 14日 高畑柳原兵藏死去
 16日 宮下喜久蔵母死去
 19日 鎮守上堰とよ破損致候
 22日 池田村と和三郎拙宅へ来ル
 23日 源吉無尽有之候尤橋本ニ而
 24日 東京為三郎方へ状出ス
 27日 東京為三郎方と状来ル但廿四日出シ
 28日 長野青木佐兵衛方と林半五郎之儀ニ付代
 人来ル

- 29日 篤座芝居有之
8 月
- 2日 林半五郎家屋敷都テ青木与作方へ売渡申候、右ニ付半五郎ト豊次郎ト借家入リ替ニ相成候
- 4日 大工青木惣三郎仕事来ル
- 4日 伍長之儀ニ付萬鉄勝平亀太郎来ル
- 5日 新作弥八方借家今日引越し
- 6日 雨祝ひニ付四阿山へ晩達祭致候
- 6日 舟久保金蔵へ貸金之儀堀内五郎へ相托シ濟方致候
- 5日 為三郎宅臼井軍平借宅致度ニ付約束致候
- 6日 昨夜雨乞ニ付夕立有之、依テ臨時四阿山祭礼致候
- 10日 坂井村三人へ貸金半濟致候
- 10日 一ノ川久保田継太郎女房雷ニテ討レ死ス
- 11日 おただ松本と来ル
- 11日 小林直四郎父死去
- 14日 盆呼致候
- 16日 小山崎往来端旅人コレラ病ニテ苦ミ居ル見分ニ相成ル 右ノ人忠兵衛方ニ止宿致候由ニ付追テ臼井忠兵衛方少々迷惑掛ル
- 22日 峠池組板被致候
- 23日 避病院新築金先日銘々請取置今日印形致候
- 28日 四阿山祭礼
- 31日 コレラ病除防方神明宮社内ニテ署長戸長演舌有之候
- 9 月
- 1日 軍平為三郎宅借家致今日引越申候
- 2日 乱橋村ニコレラ病有之由
- 4日 下井堀村コレラ病老人死去
- 4日 安坂漸耕地若林二郎太郎方へ三毛ノ猫子遣ス
- 4日 臼井玄造方へ貸金勘弁ヲ以テ相濟シ申候
- 5日 東京為三郎方へ状出ス
- 8日 表ノ石垣並橋破損致候
- 9日 東京為三郎方と七日出ノ状着
- 11日 東京為三郎方と七日午後出ノ葉書到着
- 12日 旧八月十五日ニ付大神宮祭典之儀御差止ニ付止ム
- 13日 会田と麻績村迄ノ酒造人集会拙宅会席
- 17日 宮下平弥国民軍の令ニ付御届書出ス
- 19日 東京為三郎方へ状出ス
- 20日 当校昇級試験有之
- 20日 小宮山おこふ・おむら朝飯呼ふ
- 20日 市川宇一妻死去
- 21日 宮川東太郎叔父精作死去
- 21日 永井安養寺隠居和尚死去
- 22日 坂井校試験有之
- 22日 今晚ヨリ蚊屋外シ
- 25日 東京為三郎方と状来ル師藤田正方死去
- 26日 土蔵並隠宅作り替度催ふニ付今日と取掛ル
- 26日 柳沢お千代と證文預リ置候内今日無尽證文渡ス、尤外ニ書添證文受取
- 28日 近藤菊蔵旧林忠右衛門宅へ引起致候
- 10 月
- 1日 寺沢常三郎拂物致候
- 3日 土蔵壁並柱立取崩ス
- 3日 臼井利平次倅与三郎死去
- 5日 新規土蔵繩張致候
- 6日 土蔵地形初メル
- 6日 青木佐兵衛と送り金十円堀内氏ヨリ受取
- 7日 土蔵物置模様替致候
- 8日 隠宅屋根瓦卸ス
- 8日 舟久保林八母死去
- 9日 大工ハ軍平ニ渡置候処嵐吉源次郎兩人来ル物置ノ方土台居へ初タル
- 10日 継次郎来ル隠宅取毀チ又土蔵地形ニ掛ル
- 9日 舟久保林八母死去不幸
- 10日 市川彦九郎ヨリ五円受取
- 11日 柳沢お千代四十円證文佐兵衛へ差置候分堀内へ渡ス
- 12日 土蔵敷地杭打敷木致候
- 12日 臼井九衛五十円返金ニ来ル
- 13日 土蔵石垣川端初メル
- 13日 武田常三郎拙者方へ寄留致候
- 16日 林清五郎儀林半五郎方と買取候舟久保畑青木与作へ売渡ニ付約束ニ付手付金ノ内へ十円清五郎へ相渡ス請取證取ル
- 16日 昼後と物置建前ニ掛ル夕方相濟
- 17日 美篤座ニテ芝居致候
- 19日 大津志道持田老反八畝廿五歩宇柳田買入候
- 19日 下町丸山善吉死去

21日 舟久保政蔵へ昨年十二月三十五円貸金返済
 22日 壁塗熊吉仕事ニ来ル初メ
 22日 昼後土蔵建前致ス
 26日 土蔵ノ壁坂坂村継次ニ渡ス依テ今日仕事初メル
 28日 柳沢茂三郎儀会田校へ授業生ニ罷越候立寄ル
 11 月
 3日 芦沢七郎持家裏畑六畝歩青木与作へ売却ノ咄初マル
 4日 土蔵壁塗初メル
 6日 柳沢お千代と物品並無尽帳受取五十円貸置候内無尽帳四十円ニテ拔受為致候又本證文モ渡ス十円ハ外證文出ス
 7日 屋根葺初メル
 7日 芦沢七郎儀青木与作へ家裏畑六畝歩売却咄初マル
 11日 各地主ニ於テ畝杭可建旨触有之建ル
 12日 東京岩淵菊司方入揚取立呉候様葉書来ル
 14日 土蔵物置屋根瓦葺相済
 16日 旅籠や鑑札書替ニ相成ルニ付可差出旨役場触有リ出ス
 16日 金五郎儀林静三方へ返金之儀ニ付金主周旋中
 17日 芦沢七郎持家裏畑六畝歩代価十四円七十銭右ノ畑青木与作儀芦沢七郎と今日売却公証相済
 19日 大雪六寸程積ル
 20日 金五郎借用金之儀彼は間違ニテ歎息仕居候
 21日 林久吉移徙開店客立致候
 21日 寺沢金五郎儀林静三方借用金之儀今日盃舎小山岩平方と金子借用致家屋敷請戻シ候又岩平方抵当ニテ百廿円借用申候、但本年明年十月迄壹ヶ年限リ
 22日 小布施高津大助方と便リ有之候
 24日 木曾平沢村とゆき母来ル
 12 月
 1日 おきち・おしげ・ゆき塩崎村北村友右衛門方へ法事ニ行
 3日 舟久保金蔵女房死去
 6日 川端擲取毀テ致候

11日 桑原関長曉立寄ル
 12日 山崎鉄五郎と土無心ニ付裏庭ノ土呉ル
 14日 矢久村古田仙十郎来ル
 15日 おきち・おしげ坂木と帰宅
 19日 寺沢金五郎女房晚来ル
 22日 成相新田村笠原宗治変死ノ事
 25日 去ル五月田穀借受今日返済
 25日 大津志道と買受田券状受取、林半五郎と青木与作畑宅地買受券状受取
 25日 東京為三郎方と松茸老箱送ル
 28日 柳沢米蔵婚礼致候
 30日 林豊治郎妻男子出生
 31日 旅籠屋鑑札御下ケニ付受取

明治二十亥年

廿年一月一日と五日迄天気夫と本月中雪散ル大寒ヨリ寒尤雪降雨も数日有リ 其後度々氷ル二月廿日後と追々雪薄ク成ル 三月ニ至リ折々大雪降り氷ル 三月十八日彼岸ニ候得共家際ニ雪沢山ふり有之屋根北側坏雪五寸程有之候追々天気打続キ雪消候 四月ニ至リ二日と四日夕方迄雨交雪降り四日朝雪六寸程積リ終日降ル五日ヨリ天気又十二日雨降り夫と天気打続キ又三十日雨降ル 五月天気勝チ六月平ラ七月八月九月天気ニテ適々夕立有之 依テ田畑共ニ影氣宜敷然レ者養蚕ニテ金具融通能キニ付諸品直上ケニ相成ル 田方ハコロガへ虫立チ候得共障リニ不相成候 十月天気合至極宜敷雨少々曇リ勝チ 十一月天気曇リ当月中旬寒又雪降り追々天気暖氣ニ成ル朝ノ霜ハ折々也 十二月天気打続キ十四日雨雪少々降ル翌日ヨリ天気

1 月

1日 宮下文語惣代ニテ大神宮御祓並柱曆来ル
 3日 矢久村古町新平来ル
 5日 東京菊司方と年始状来ル
 6日 東京為三郎方と三日出之葉書年始状来ル
 6日 柳沢米蔵妻里開ニ付赤飯老重来ル
 7日 林静三方同久吉へ分地残リノ地所へ保証印形致ス
 10日 此頃中券状名前替萬端ニ付心配致候
 12日 東京為三郎方と九日出ノ状来ル、尤去極月送り物返書

- 12日 中町久保田作五郎養母死去
 12日 上町臼井清吉娘上田在小泉村へ縁付行
 14日 券状書替願書役場へ出ス
 14日 永井村柳沢和四郎孫死去
 20日 下町宮下宗平長男勘蔵死去
 28日 林芳太郎儀旅人止宿高及宿料共昨年一ヶ
 年分二月二日迄ニ書出ス旨申
 29日 東京為三郎方五廿五日出之状来ル
 30日 東京為三郎方へ葉書郵便出ス
 2 月
 5日 東京為三郎方ヨリ二月一日出之状来ル
 6日 東京為三郎方へ状出ス
 7日 名々役場へ印鑑出ス
 9日 東京山田喜兵衛方五年頭状来ル
 10日 寺沢金五郎東京へ出立
 12日 臼井直平方男子出生
 13日 東京為三郎方五十日出之状来ル
 13日 峯山事件判決之由
 14日 東京為三郎方ヨリ十日出之新聞壹枚来ル
 14日 おたみ和合へ帰ル
 15日 去月西条村へ登記役場出来ニ成ル
 17日 上町西沢由五郎儀来ル、菊間彦左衛門方
 嘉永子年我等ヨリ五円借用致候證文有之ニ
 付如何之儀ニ御坐候哉尋問ニ付取調ニ掛ル
 18日 臼井文作娘家出致候
 18日 臼井平六郎方平右衛門ノ十七年季法事
 内々致候由、蕎麦来ル
 19日 永井駒形玉井宗五郎焼失
 24日 警察署建築ノ事件初ル
 25日 券状書替ニ相成ル五枚役場方受取
 27日 臼井九衛方どぶころばし
 28日 おたみ和合へ行
 3 月
 3日 法善寺釈迦ノタクハツ相止メ源右衛門昨
 夜方風邪少々不快
 6日 為三郎並早川喜兵衛東京方今夕到着致候
 8日 早川喜兵衛善光寺へ参詣ニ行
 9日 ゆき儀左リ手甲焼度致候
 9日 早川喜兵衛善光寺方帰宅拙宅ニ泊ル
 10日 林おいと儀昨日半産致候
 11日 芦沢徳之助婆おしま死去
 14日 林平・為三郎兩人不快ニ付金五郎仲人ニ
 テ相済
 15日 為三郎早川喜兵衛林五郎今朝未明出立東
 京へ罷越候
 15日 臼井直平方五小児ノ七夜ニ付赤飯並焼餅
 来ル
 17日 東京為三郎方へ帯一条ノ郵便出ス
 21日 東京為三郎方五葉書郵便来ル十七日出但
 黒着ノ由
 21日 十七日高井郡綿打村堀内氏方不幸有之由
 22日 おたみ今朝和合へ帰宅
 22日 芦沢七郎方青木興作へ買入向裏畑券状書
 替ニ成リ下ル
 24日 林豊治郎方小児三日湯七夜致候
 25日 寺沢金五郎小児誕生致候
 28日 孝平券状為三郎ニ書替願出ス二度目
 28日 東京為三郎方五廿五日出状来ル
 28日 臼井直平方先日小児ノ祝有之今日義理ニ
 行
 29日 臼井荒治郎儀当所へ引越候
 31日 おきち花やへ呼れ行
 31日 林又兵衛遊ニ来ル
 4 月
 1日 燕来ル
 2日 久保田林作臼井勝蔵兩人授業生ニ坂井校
 へ今日五出頭
 3日 北村友右衛門来ル泊ル
 6日 縣ヨリ林平方へ免状下ル
 8日 諸々元山砂留ノ件初マル
 10日 仁熊富蔵山開帳初ル
 11日 寺沢金五郎東京へ出立致候
 13日 東京為三郎方五状来ル
 14日 中裏雪隠ヲ外裏へ送ル
 17日 壺庭ヲ拵ふ
 19日 池田町塩原定兵衛おもん達ニ来ル
 23日 庚申講致候
 24日 滝沢礼四郎養母死去
 25日 外裏薪小屋垣形致候
 26日 大和や耕馬落ル
 30日 壺庭松倒れ候ニ付伐採取ル
 5 月
 2日 池田定兵衛おもん・おむら招ク
 3日 高津三郎来ル
 3日 萬鉄方屋根葺替致ス
 3日 寺沢金五郎東京方帰宅

4日 芦沢山砂留メニ出ル
 5日 武田常三郎女房おとは拙宅へ寄留
 8日 林平夫婦おしげ長野へ行
 11日 常三郎妻おとは男子出生
 15日 古田新平来ル
 16日 林平一同帰宅
 16日 芝居有之候
 17日 桑原六左衛門娘浅間村へ縁付
 17日 林誠一郎死去
 17日 十五日長野遊郭焼失之由
 19日 おふみ不快
 20日 芦沢滝三郎女房一同拙宅へ逢ニ来ル
 22日 市五沢村方唄合セ撰ミニ来ル
 22日 武田常三郎女房おとは死去候
 23日 東京為三郎方へ手紙出ス
 27日 永井杉崎山田清五郎方シンジュ有リ
 28日 武田常三郎小児死去
 6月
 1日 永井玉井義一飯田町へ修行ニ行
 2日 役元ヨリ戸籍改芦沢芦雄来ル悉ク印ス
 5日 味噌仕入致候
 5日 蚕出ル
 6日 巨燵塞ク
 12日 芦沢芦雄実母中風ニ掛ル
 13日 武田常三郎男逢ニ来ル
 14日 山ノ口ニ付ゆき城裏へ刈藪ニ行
 14日 町北側乾装場ノ連印致候
 18日 学校今日ヨリ十五日間休ミ
 18日 林昌治東京方帰省
 20日 旅籠や取締投票致白井平六郎へ落札
 22日 田植初メル
 24日 旅舎営業願書名々出ス
 25日 中庭垣根拵ヒ初メ
 25日 北山大沼へ大池築キ度且論ニ付白井九衛
 外人見分ニ行
 25日 中庭ノ牆結ウ
 26日 とよの川水道改築ノ集会久吉方ニ有リ
 30日 拾銭札交換ノ書付廻ル
 7月
 2日 とよの川水道改築ノ儀ニ付戸長見分有
 6日 町田峯吉東京へ行拙宅へ来ル
 6日 白井斎知郎も東京へ行

7日 東京為三郎方方参リ来ル
 7日 とよの川水道改築ノ届書役場警察署へ出
 ス
 12日 旅舎中警察署へ出ル
 15日 東京斎知郎方ヨリ手紙来ル
 15日 演太郎娘出産男子出生
 19日 おたゝ病氣菊司宅へ来ル下旬全快
 22日 長畑村永井村外ニヶ所雷落ル
 23日 中庭へ松ノ木三本植ル
 25日 町田峯吉東京ヨリ帰ル拙宅へ立寄ル
 28日 神明宮祭礼芝居有之
 29日 番号札改正致候
 30日 鶴見源吉十四年度発起無尽会拙宅ニテ致
 候
 30日 東京為三郎方へ茶届候状出ス
 8月
 1日 東京為三郎方方書留郵便来ル林五郎一条
 1日 神明宮森ノ杉ウロウノ中ニテ晩火燃ル
 名々消ニ行
 2日 蟬啼初メ
 7日 武田常三郎拂物致度相談有之候
 8日 芦沢四郎左衛門末葉今般芦雄方へ尋来ル
 9日 新作悌和三郎八幡村方来ル
 10日 戸主源右衛門ヨリ林平へ譲ル
 10日 営業鑑札書替ニ付役場へ出ス
 11日 白井佐一郎東京へ罷越候
 12日 林久吉徴兵検査ニ松本へ行候処不合格ニ
 付帰村
 12日 武田常三郎松本へ行
 18日 台所燕ノ巢ニテ白燕出来ル
 19日 日食九分五厘カケル
 28日 長野青木佐兵衛方ヨリ味淋壺瓶来ル
 31日 堀内氏儀源吉初無尽金宮川ヨリ受取持参
 9月
 2日 酒造人会合有之候
 4日 東京斎一郎方ヨリ状来ル
 6日 とよの川水道普請初ル
 7日 平沢村ゆきノ母方ヨリ状来ル
 9日 東京喜兵衛方ヨリ山田屋登方へ百円来ル
 10日 字天神林拙者所持ノ畑ノ上旧秋葉宮森地
 今般買請候
 12日 水道普請相済
 15日 山田屋登上田へ金員百円受取ニ行受取帰

宅

- 15日 巡査向山氏岩淵菊司宅へ引越来ル
 16日 永井耕地ニ芝居有之候尤木戸打候由
 17日 四阿山祭礼ニ付芝居有之候
 18日 長野佐兵衛方へ味淋並鰻受取遣ス
 18日 中町飯沼与市死去候
 22日 林平印鑑願致候
 28日 寺沢金五郎東京へ出立
 10 月
 1日 大神宮祭礼ニ付新幟建ル但四本
 2日 矢久村古田新平八幡行立寄ル
 2日 上町白井五郎七嫁死去
 3日 林平へ地所建物譲渡ニ付西条登記役場へ
 行
 6日 寺沢金五郎女房おてい急病ニ付おふみ見
 舞ふ
 8日 昨夜西岳へ雪積ル
 8日 駅伝今般相止ニ相成ニ付仕拂残り金下渡
 之沙汰有之候
 10日 坂木平林兵左衛門泊リニ来ル
 11日 東京為三郎方ヨリ九日出之状来ル
 13日 中町白井清八死去
 13日 寺沢金五郎昼後東京方帰宅
 14日 兵左衛門帰村致候
 14日 東京為三郎方へ送り物ノ返書遣ス
 16日 芦沢義郎方巡査合宿所廃止ニ成ル
 18日 白井与十郎祖母死去
 18日 裏石尊山辺今日ヨリ砂ボウ砂留メ初マル
 22日 千本柳村おりゃう来ル
 22日 東京為三郎方ヨリ葉書並本宅冊来ル
 24日 砂ボウちん金二日分受取
 26日 おしま方庚申請有り
 26日 おきち・おいと甲雄方へ産見舞ニ行
 30日 稲刈初メル
 11 月
 4日 寺嶋信行泊ル
 6日 芦沢五十治来ル
 6日 林平方へ教員延期書役場方下ル
 6日 大和やヨリ新酒披露ニ付品々来ル
 6日 武田常三郎寄留ノ所立戻リ書役場へ出ス
 7日 上雪隠棟上致候
 7日 東京為三郎方方葉書来ル
 8日 返書遣ス

- 8日 西洋教員川村律馬拙宅ニ泊ル
 11日 会田在料瀬村ヨリ小女おとせ十一才拙宅
 へ貰ふ 林静三方へモ会田町ヨリ小女十三
 才貰ふ 今夕久吉同道致候
 12日 佐官熊吉上雪隠壁塗ニ来ル
 16日 林清五郎儀本月上旬頃ヨリ左ノ肩下へヨ
 ウと申はれ物出来難儀致居候
 21日 大和やへ例年之通り蕎麦遣ス
 23日 東京早川喜兵衛方山田屋登方並おしけ
 方へ送り物有之廿四日返書遣ス
 23日 白井甲雄方へ昨夜盗人入り札十四門盗ム
 26日 おふみ坂木へ年回ニ行
 26日 下井堀渡辺浅太郎源吉初無尽金返済ニ来
 ル
 27日 赤坂勝平方出産有之
 29日 養女とせノ入籍書役場へ出ス
 30日 白井丈作娘おきち縁付行
 12 月
 2日 鰻貳百十匁受取但惣吉ヨリ
 3日 ゆき妹達ニ来ル
 3日 東京為三郎方並木曾平沢村菅沼市助方へ
 状遣ス
 4日 武田常三郎来ル
 4日 岩淵菊司東京ヨリ来ル
 6日 おふみ坂木方帰宅

明治二十一年

1 月

- 4日 夜十二時後五時頃下井堀村渡辺梅次焼失
 4日 夜松本南深志町本町五丁目門徒宗極楽寺
 ヨリ出火南大風ニテ過半焼ル中町少々横町
 残ル神道事務局警察署全焼柳町大名町小柳
 町北へ焼ル
 4日 中町宮尾九八郎方へ盗人入り反物二三反
 盗られ候由
 4日 東京城田鉄三郎白井佐一郎年始状来ル
 6日 署長出立
 6日 おたゞ儀先日ヨリハレ物ニテ難儀致拙宅
 ニテ世話致遣ス
 7日 東京喜兵衛方ヨリ名酒壺升徳利来ル
 10日 碩水寺於テ二路線会有リ
 10日 桑原関長曉立寄ル

11日 東京より年始状所々ヨリ来ル
 16日 林平当校へ出勤
 18日 おしげ不快
 25日 二路線ノ集会今晚橋本ニ於テ有之
 29日 宮越関三郎死去
 29日 臼井九衛夫婦和合ニ付昨夜おいち内へ帰
 ル
 31日 林清作倅婚礼有之候
 2 月
 2日 林静三二路線ノ儀ニ付上伊那郡辺迄罷越
 候由
 3日 関三郎死去ノ後警察署へ露頭ニ付越向ニ
 相成候由
 4日 小山偵二郎無尽金濟方ニ来ル
 5日 堀内氏長野佐兵衛方へ行八日帰ル
 9日 町田峯吉ヲ招ク
 10日 高等教員当校へ在勤但近藤彦九郎
 12日 林静三儀伊那郡ヨリ帰村

13日 林平今日ヨリ坂井支校行
 13日 校長拙宅へ来ル酒夕飯出ス
 15日 花や大判呼有リ
 17日 東京菊司方へおたゞ瘡物（全快）並泉平
 類焼見舞葉書
 18日 火事強キ有リ
 19日 矢代柿崎源左衛門年始ニ寄ル
 19日 火事有之候但忠兵衛隠宅ノ脇
 23日 とせ儀太モ、痛ミ菊蔵ニ拝ミ貰ふ
 24日 とせ儀玄秀ニ掛ル
 26日 臼井市三郎方ヨリ昨夜祖母死去ノ由申来
 ル
 28日 宮原定之助拙宅へ来ル
 29日 臼井九衛朋コロバシ呼れ行
 3 月
 1日 宮原定之助出立帰村
 （源右衛門筆跡ここにて終る）
 23日 源右衛門死去